

## 第2次米沢市男女共同参画基本計画 平成29年度事業実施状況報告

基本目標Ⅰ 人権尊重と男女共同参画の意識づくり

基本方針1 男女が互いの人権を尊重し男女共同参画の意識を確立します

主な施策(1) 性別による固定的な役割分担意識の解消や社会慣行の見直し

|         |          |            |              |
|---------|----------|------------|--------------|
| ＜実施状況＞  | A: 実施した  | B: 一部実施した  | C: 実施できなかった  |
| ＜目標達成度＞ | A: 達成できた | B: 概ね達成できた | C: 目標に及んでいない |

| 具体的な取組                                          | 担当課      | 実施事業の内容                                                                                                               | 実施状況 | 事業の目標(値)                                                                                     | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                                                               | 課題・改善点等                                                                                |
|-------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| ①性別による固定的な役割分担意識の解消や社会慣行の見直しを図るための意識改革の啓発を行います。 | 総合政策課    | 男女共同参画週間に合わせて、ナセBAオープンギャラリーにおいて男女共同参画に関連するパネルや男女共同参画啓発作品募集の入賞作品の展示を行うとともに、女性団体等と協働で、啓発活動も実施した。<br>男女共同参画についての作品を募集した。 | A    | 男女の固定的な役割分担意識に基づく制度や習慣について問題を提起し、男女共同参画社会について理解を深める。<br>啓発作品の募集を行うことで男女共同参画について市民に関心をもってもらう。 | A     | 展示等を通して、男女共同参画について関心を持ってもらうとともに、相談窓口の周知を図ることができた。小・中・高校、一般から1,004作品の応募があり、幅広く男女共同参画について考えてもらうきっかけとなった。また、優秀作品や表彰式の模様を市報に掲載することで、市民に関心を持っていただくことができた。 | 展示会場について、より多くの方に見てもらえる場所を検討する。<br>女性団体との啓発活動の拡大を図る。<br>募集時期を学校の冬休みの期間に合わせたが、他の時期も検討する。 |
|                                                 | 社会教育・体育課 | 広報よねざわ家庭教育特集記事の掲載4ページ                                                                                                 | A    | 幅広い年代の方へ家庭教育の大切さを伝える。                                                                        | A     | 「絵本」をテーマに4ページ掲載し、親や家族から読み聞かせをすることの大切さを伝えることができた。                                                                                                     | 現在子育て中の親への反響は大きかったが、子育てが落ち着いた世代やこれから親になる世代の方にも関心を持ってもらうテーマを検討する。                       |
| ②人権や男女共同参画に関する実態・意識調査を実施し、公表していきます。             | 総合政策課    | 審議会等における女性委員の登用状況調査を行い、結果調査を市のホームページに掲載した。                                                                            | A    | 審議会等の女性委員登用率及び基本計画の進捗状況を明らかにする。<br>女性委員の登用率の目標値：29年度35%                                      | B     | 調査結果を推進委員会へ報告し、ホームページに掲載することで基本計画の進捗状況を明らかにした。(28年度25.3%、29年度24.9%)                                                                                  | 調査の実施、公表はできたが、目標値の達成はできなかった。今後も目標に達するよう、各課等に働きかけていく。                                   |

基本目標Ⅰ 人権尊重と男女共同参画の意識づくり

基本方針1 男女が互いの人権を尊重し男女共同参画の意識を確立します

主な施策(2) 人権尊重と男女共同参画意識の高揚と体制づくり

| 具体的な取組                                                       | 担当課      | 実施事業の内容                                                        | 実施状況 | 事業の目標(値)                                                             | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                | 課題・改善点等                                                          |
|--------------------------------------------------------------|----------|----------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| ①市の広報やホームページ等で人権尊重・男女共同参画意識を高める広報・啓発を行います。                   | 総務課      | 広報よねざわにおいて、人権書道コンテスト入賞作品展示会の周知を行う。                             | A    | 広報よねざわやホームページ等で、人権に関する展示会の周知を行い、多くの人に関心を持っていただくことにより、人権意識の普及と高揚を図る。  | A     | 作品展示会は、広報よねざわに記事を掲載し、開催周知を図ったことで多くの市民が作品を鑑賞することができた。人権意識の高揚を図ることができた。 |                                                                  |
|                                                              | 総合政策課    | 広報よねざわに男女共同参画標語・川柳の入賞作品や表彰式(4月1日号)、男女共同参画(6月15日号)についての記事を掲載した。 | A    | 男女共同参画に関する記事を掲載することで、人権尊重や男女平等について関心を高めよう                            | A     | 広報よねざわに掲載したことで、啓発活動の推進につながった。                                         |                                                                  |
| ②市が作成する公的な印刷物、ウェブサイトやSNSへの掲載等の表現は、人権尊重と男女共同参画の視点に立って十分配慮します。 | 秘書広報課    | 広報よねざわ7月15日号・10月15日号で人権擁護委員を紹介。11月1日号で「女性に対する暴力をなくす運動」を紹介した。   | A    | 広報よねざわを活用し、人権尊重と男女平等に関する広報啓発活動に努める。                                  | A     | 広報よねざわにおいて、相談窓口のほか、人権週間や県小学生人権書道コンテスト作品展示会等の周知を行うことができた。              |                                                                  |
|                                                              | 水道業務課    | 「よねざわ水道だより」創刊号を発行し、全戸に配布した。                                    | A    | 掲載記事の表現は人権尊重と男女共同参画の視点に立って十分配慮する。                                    | A     | 掲載記事の表現について、人権尊重と男女共同参画の視点に立ち十分な配慮を行った。                               |                                                                  |
|                                                              | 社会教育・体育課 | 広報よねざわ家庭教育特集記事の掲載4ページ                                          | A    | ・幅広い年代の方へ家庭教育の大切さを伝える。                                               | A     | 「絵本」をテーマに4ページ掲載し、親や家族から読み聞かせをすることの大切さを伝えることができた。                      | 現在子育て中の親への反響は大きかったが、子育てが落ち着いた世代やこれから親になる世代の方にも関心を持ってもらうテーマを検討する。 |
| ③人権啓発活動にかかわる機関等(法務局、人権擁護委員等)と連携・協力し、積極的に人権啓発活動を推進します。        | 総務課      | 山形地方法務局米沢支局、米沢人権擁護委員協議会米沢市部会の委員と連携し、人権に関係した広報啓発活動を展開していく。      | A    | 山形地方法務局米沢支局、米沢人権擁護委員協議会米沢市部会の委員と連携し、人権に関係した広報啓発活動を展開し、人権意識の普及と高揚を図る。 | A     | 山形地方法務局米沢支局、人権擁護委員との連携により、人権に関係した広報啓発活動を行うことができた。                     |                                                                  |
| ④「男女共同参画週間」「人権週間」などの機会に国・県と連動し広報・啓発活動を行います。                  | 総務課      | 山形地方法務局米沢支局と連携し、人権に関係した広報活動を展開していく。                            | A    | 国・県と連動し、「人権週間」等の広報・啓発活動を行うことにより、その趣旨や人権尊重思想について広く浸透させていく。            | A     | 山形地方法務局との連携により、人権に関係した広報啓発活動を行うことができた。                                |                                                                  |

|                                                      |       |                                                                                                                                  |   |                                                          |   |                                                       |                                             |
|------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
|                                                      | 総合政策課 | 男女共同参画週間に合わせ、ナセBAオープンギャラリーにて男女共同に関するパネル展及び平成28年度に募集した男女共同参画川柳の入賞作品を展示するとともに、米沢市の女性団体と協働で、来館者へ啓発リーフレットの配布活動を実施した。                 | A | 男女の固定的な役割分担意識に基づく制度や習慣について問題を提起し、男女共同参画社会について理解を深める。     | A | パネル展示や相談窓口の情報提供等を行い、男女共同参画を広くPRする機会が持てた。              |                                             |
| ⑤人権に関する相談窓口の周知を図るとともに、相談者にスムーズに対応できるよう市役所内の連携を強化します。 | 秘書広報課 | 広報よねざわ「無料相談のご案内」コーナーに、人権侵害等に関する相談窓口を掲載。困りごと相談や人権に関する相談に対応する職員による連絡会議を実施し、情報の共有化を図った。                                             | A | 庁内の横の連携を図ることにより、円滑で効果的な相談対応を実現する。                        | A | 担当者会議を行うことにより相談担当者間の情報の共有化を図ることができた。                  |                                             |
|                                                      | こども課  | 庁内各課との連携を強化し、ポスター掲示またパンフレットの窓口配布を行う。                                                                                             | A | 相談しやすいよう、相談窓口のPRに努める。                                    | A | 深刻なケースが増え、相談の内容も多様化しているが、周知を通じ、人権意識の高揚を図ることができた。      |                                             |
|                                                      | 高齢福祉課 | 米沢市高齢者虐待防止連絡会要綱に基づき、市内各地域包括支援センターを中心とした連絡会メンバーと連絡を密にし、必要な支援を行った。高齢者の増加に伴い人権に関する相談等が年々多く寄せられることから、相談者にスムーズに対応できるよう役所内での連携を強化を図った。 | A | 高齢者虐待の防止、高齢者虐待を受けた高齢者の迅速かつ適切な保護及び適切な養護者に対する支援を行う体制を整備する。 | B | 虐待を受けた高齢者の迅速な対応を図るため、コアメンバー会議の実施や、関係課との連携強化を図ることができた。 | 相談件数も増加傾向にあり、個々の事例に応じた迅速な対応が執れるよう工夫する必要がある。 |
| ⑥担当職員が人権に配慮した対応ができるように研修機会等の確保や情報提供を行います。            | 総務課   | 人権に配慮した対応が必要な課等に対して、情報提供を行う。                                                                                                     | A | 人権の啓発に関する資料等の配布、情報提供を行うことにより、職員の知識習得と人権意識の高揚を図る。         | A | 問い合わせに対して情報提供を行うことで、職員の人権意識の高揚を図ることができた。              |                                             |
|                                                      | 総合政策課 | 各種研修について相談窓口担当課へ周知を行った。                                                                                                          | A | 人権に関する研修会について庁内に情報を提供する。                                 | A | 相談窓口担当者の研修の機会が持てた。                                    |                                             |

基本目標Ⅰ 人権尊重と男女共同参画の意識づくり

基本方針Ⅱ 人権尊重と男女共同参画の視点に立った教育・学習を推進します

主な施策(Ⅲ) 人権尊重と男女共同参画の視点に立った学校教育の推進

| 具体的な取組                                                                              | 担当課   | 実施事業の内容                                                                                                                                          | 実施状況 | 事業の目標(値)                                                                                                                                  | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                                                                        | 課題・改善点等                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| ①性別にとらわれずに、一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育を充実します。                                                 | 学校教育課 | すべての学年で少人数学級編制が行われているので、少人数の良さを生かし、個に応じた指導の充実を図る。授業研究会などで個に応じた指導のあり方について研修し合うとともに、実態把握を丁寧に行うとともに、座席表の活用を通して一人ひとりの見取りを大切にしたい授業作りについて、学校訪問を行い指導する。 | A    | すべての学校で教員研修や校内研究会のテーマとして取り上げる。                                                                                                            | A     | すべての小・中学校において、個に応じた指導・支援に積極的に取り組むことができた。                                                                                                                      |                                                                 |
| ②性別や障がいの有無にとらわれずに、互いに協力し助け合う、思いやりの心を育む教育を充実します。                                     | 学校教育課 | 年2回アセスを実施することにより、子ども達一人一人の満足度・困り感を把握し、一人ひとりの悩みやいじめなどの未然防止・早期発見に努める。思いやりの心を育てることを道徳教育の重点として、「いのちの教育」を行っていく。                                       | A    | アセスの結果を分析・活用し、学級経営や授業改善に活かす。また、各校、各学年でSEL(社会性と情動の学習)に取り組むことで、相手を思いやる気持ちやコミュニケーションスキルを育てる。また、学校訪問の際に、思いやりの心を育てる方策がとられているかを確認するとともに、啓発に努める。 | A     | すべての小中学校で、アセスの結果について共通理解する場を設け、学級経営や授業改善に生かすことができた。また「だれもが行きたくなくなる学校づくり研修会」に全市で取り組み、児童生徒のコミュニケーション力の向上や良好な人間関係の構築をめざしたプログラムを実施したことで、思いやりの心を育てる教育を充実させることができた。 |                                                                 |
| ③インターネットや携帯電話、スマートフォンの普及により、性情報が氾濫している中、児童生徒の発達段階に応じた適切な性に関する知識・情報が得られるよう性教育を充実します。 | 学校教育課 | 保健体育や学級活動の年間計画に位置づけ、発達段階にあわせて計画的・継続的に性教育を実施する。                                                                                                   | A    | 年間指導計画に基づいた性教育を実施する。                                                                                                                      | A     | 各校で計画的に取り組むことができた。                                                                                                                                            |                                                                 |
| ④かけがえのない生命や人権を尊重する教育を充実します。                                                         | 学校教育課 | 道徳の時間や体験活動を通して、生命尊重について重点的に指導する。外部人材を活用した出前授業等を実施する。                                                                                             | B    | すべての学校で全体計画を立て、計画的に取り組む。                                                                                                                  | B     | 「いのちの教育」は山形県の重点でもあり、すべての学校で道徳の時間を中心に組んだ。                                                                                                                      | 外部人材活用については、指導内容の吟味、事前の打ち合わせ等も含めさらに計画的な実施が必要である。                |
| ⑤職場見学や職場体験等の実践を通して、児童・生徒が自らの進路選択を主体的に捉え、将来を考える教育を推進し、キャリア教育の充実を図ります。                | 学校教育課 | キャリア教育の意義を十分に理解し、キャリア教育指導計画の作成、及び、指導計画に沿った体験活動を実施する。                                                                                             | B    | 全ての小中学校において、キャリア教育の意義を理解した上で教育活動の見直しと併せて指導計画を作成し、計画に基づいた授業や体験活動を実施する。                                                                     | B     | 中学校においては、米沢チャレンジウィーク等による体験活動の充実を図ることができたが、小学校においては、各校で行われている職場見学等を含めたキャリア教育としての指導計画の整備がまだ進んでいない学校がある。                                                         | 小中学校9年間を見通したキャリア教育のあり方(特に小学校)についての検討及び指導計画作成に向けた働きかけと支援を継続していく。 |

基本目標Ⅰ 人権尊重と男女共同参画の意識づくり

基本方針Ⅱ 人権尊重と男女共同参画の視点に立った教育・学習を推進します

主な施策(4) 人権尊重と男女共同参画の視点に立った生涯学習の促進

| 具体的な取組                                    | 担当課      | 実施事業の内容                                                                                                                                                                            | 実施状況 | 事業の目標(値)                                                                                             | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                                                                                      | 課題・改善点等                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①地域や家庭における男女共同参画を推進するための講演会や講座等の開催を推進します。 | 総合政策課    | 山形県男女共同参画センターで開催する女性リーダー育成講座(チェリア塾)等についてPRを行った。<br>男女共同参画地域講座を開催し、男女共同参画に向けた市民意識の醸成と普及啓発を図った。                                                                                      | A    | 講座や講演会等に積極的に参加し、男女共同参画のまちづくりについて関心をもってもらうとともに理解を深めてもらう。                                              | A     | 地域講座の開催により「男女共同参画」について知ってもらうきっかけとなった。                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                 |
|                                           | 社会教育・体育課 | 〇まちづくり人財養成講座<br>平成29年6月から9月までの8回。まちづくり、地域活性化に情熱を注いでいる講師や市民を迎え講座を開催。8人の講師中5人が女性、女性の潜在能力を引き出す学習機会を提供。講座受講者数102人 のべ241人(うち女性48人のべ121人)                                                | A    | 「まちづくりプラン大賞」コンペティションを開催し女性のアイデアが活かせるまちづくりと女性の潜在能力を引き出す機会を提供する。                                       | A     | 地域の高齢者を集め里山を再生する。地域の大学と連携して地域の食材をおしゃれに開発することで、農産物に付加価値を上げる。郷土料理を分かりやすくつくれるレシピ本を作成し地域資源を正確に伝承したいという女性リーダーが誕生し活躍している。                                                         | 空き家を活用した提案が多かった。建造物に着手すると事業費がかさむので、アイデアがあっても二の足を踏んでいる場合が多いため、資金のサポートが重要であった。クラウドファンディングを活用した事業もあり意欲的に活動していた。                                                                                    |
| ②人権尊重や男女共同参画の意識を高めるための学習に対して支援を行います。      | 総合政策課    | 男女共同参画に関するビデオやDVDの貸出を行う。<br>人権や男女共同参画に関する講座・講演について、PRを行う。                                                                                                                          | A    | 講座の参加やビデオ等の鑑賞により、人権尊重や男女共同参画について広く知ってもらうとともに、意識を高めてもらう。                                              | B     | 県や各種団体で行う講座等に積極的に参加していただけるよう、広報掲載や関係団体へのお知らせ送付などで、情報提供ができた。                                                                                                                 | ビデオ等の貸出実績はなかったが、今後も広くPRしていきたい。                                                                                                                                                                  |
|                                           | 社会教育・体育課 | 〇まちづくり人財養成講座<br>平成29年6月から9月までの8回。まちづくり、地域活性化に情熱を注いでいる講師や市民を迎え講座を開催。8人の講師中5人が女性、女性の潜在能力を引き出す学習機会を提供。講座受講者数102人 のべ241人(うち女性48人のべ121人)<br>◎中央公民館事業<br>赤ちゃんとのふれあい体験事業(小学生167人・中学生236人) | A    | 〇「まちづくりプラン大賞」コンペティションを開催し女性のアイデアが活かせるまちづくりと女性の潜在能力を引き出す機会を提供する。<br>◎生身の赤ちゃんとふれ合うことで、命の大切さや感謝の気持ちを育む。 | A     | 〇地域の高齢者を集め里山を再生する。地域の大学と連携して地域の食材をおしゃれに開発することで、農産物に付加価値を上げる。郷土料理を分かりやすくつくれるレシピ本を作成し地域資源を正確に伝承したいという女性リーダーが誕生し活躍している。<br>◎3年目となる事業であるが、新規の小中学校で実施でき、命の大切さや感謝の気持ちを育む機会を提供出来た。 | 〇空き家を活用した提案が多かった。建造物に着手すると事業費がかさむので、アイデアがあっても二の足を踏んでいる場合が多いため、資金のサポートが重要であった。クラウドファンディングを活用した事業もあり意欲的に活動していた。<br>◎全ての学校での開催が困難なため、継続しての支援ができない。来年度より、全中学校を対象とし、同一校で継続して支援していくことで、等しく体験の機会を提供する。 |

|                                                        |          |                                                                                                            |   |                                                                            |   |                                                                           |                                                            |
|--------------------------------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| ③市が講演会や講座等を開催する場合は、一時託児室を設置するなど誰もが参加しやすい環境を整えるように努めます。 | 社会教育・体育課 | ◎中央公民館事業<br>1・2歳の子を持つママへ贈る<br>とっておきのじかん【無料託<br>児付】<br>・夏の部（全4回）（のべ母親<br>75人参加）<br>・秋の部（全4回）（のべ母親<br>50人参加） | A | 特に託児を必要とする1・2歳<br>児を持つ母親を対象に講座を<br>開催し、ママ友を作るきっか<br>けやりフレッシュする機会を<br>提供する。 | A | 初めて託児を利用する母親が<br>おり、自分の時間としてゆっ<br>くり過ごせたことで、子ども<br>と真摯に向き合える機会を提<br>供できた。 | 託児を利用することに罪悪感<br>を感じる母親へのケア。<br>誰もが気軽に利用できるきっ<br>かけづくりを行う。 |
|--------------------------------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり  
 基本方針3 意思決定の過程における男女共同参画を推進します  
 主な施策(5) 政策・方針決定の過程に女性が参画できる体制づくり

| 具体的な取組                                                                                            | 担当課      | 実施事業の内容                                                                                                                                                                                     | 実施状況 | 事業の目標(値)                                                                                            | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                                                                   | 課題・改善点等                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①各種審議会等への女性委員の登用を推進します。<br>・女性委員の割合を平成33年(2021年)まで35%とすることを目標とします。<br>・女性委員ゼロの審議会等を解消することを目標とします。 | 高齢福祉課    | 介護認定審査会 市長から任命された保健・医療・福祉の学識経験者が要介護・要支援の審査・判定を行う。                                                                                                                                           | A    | 適正・公平な審査・判定。                                                                                        | A     | 女性医師はごく少数のため、医療分野の学識経験者が男性に偏ってしまい、女性委員の割合が少なくなる。                                                                                                         | 保健・福祉分野で女性委員を登用する。                                                                           |
|                                                                                                   | 環境生活課    | 【廃棄物対策担当】<br>米沢市廃棄物減量等推進審議会に女性委員を起用する。<br>【危機管理室】<br>米沢市防災会議<br>米沢市防災会議に女性委員を起用する。<br>米沢市国民保護協議会<br>米沢市国民保護協議会に女性委員を起用する。                                                                   | B    | 女性委員の構成比を35%に近づける。                                                                                  | C     | 【廃棄物対策担当】<br>構成員の女性比率を、36.3%以上(4人/11人中)とすることができ、女性委員の登用推進を図ることができた。<br>【危機管理室】<br>米沢市防災会議委員<br>39名うち女性5名<br>(12.82%)<br>米沢市国民保護協議会委員<br>39名うち女性3名(7.69%) | 【危機管理室】<br>米沢市防災会議、国民保護協議会については、関連する団体の長、自治体の長、部長を委員に委嘱しているため、女性委員の割合が低い結果となっている。            |
|                                                                                                   | 社会教育・体育課 | ○米沢市生涯学習振興委員会にて提言及び助言を行う<br>(1)生涯学習の推進によるまちづくりに関すること。<br>(2)生涯学習の振興に関すること。<br>(3)その他生涯学習に関し市長が必要と認めること。15人の内9人が女性委員<br><br>◆社会教育委員・公民館運営審議会<br>20人(内女性8人)40%<br>◆児童会館運営委員会<br>10人(内女性4名)40% | A    | ○(1)生涯学習の推進によるまちづくりに関すること。<br>(2)生涯学習の振興に関すること。<br>上記について提言及び助言を行う。<br><br>◆女性委員の比率が35%以上になるように努める。 | A     | ○生涯学習の推進及び助言を適格に活動できた。<br><br>◆女性委員の比率が共に35%を超えており、専門分野において助言いただけた。                                                                                      | ○生涯学習の範囲が広がったため、多岐にわたる専門分野の委員が提言するため他の委員はある面で反論できないため、分かりやすい説明をしていただくように努める。<br><br>◆継続していく。 |
|                                                                                                   | 社会教育・体育課 | ●スポーツ推進審議会<br>女性委員の割合を平成33年度(2021年)までに35%とすることを旨とする。                                                                                                                                        | C    | 委員定数 9名<br>うち女性委員 3名(約35%)                                                                          | C     | 現在の委員の任期がH28.7.1～H30.6.30のため、平成28年度に引き続き定数9名、うち女性は1名の体制であった。<br>なお、平成29年度は審議会を開催していない。                                                                   | 各団体の長等にあて職でお願いしている委員が多く、女性委員の登用が難しい面がある。                                                     |
|                                                                                                   | 総務課      | 米沢市情報公開・個人情報保護審査会に女性委員を起用する。                                                                                                                                                                | B    | 女性委員の構成比を35%に近づける。                                                                                  | B     | 業種によっては女性のなり手が少ないことから、女性委員の割合を目標値に近づけるのはなかなか難しい。                                                                                                         | 米沢市情報公開・個人情報保護審査会では、委員を士業の方をお願いしているが、業種によっては女性のなり手が少ない。                                      |

|                                            |       |                                                                                  |   |                                                                                       |   |                                                                                  |                                                            |
|--------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
|                                            | 秘書広報課 | 米沢市広報委員会委員<br>委員8人中、女性5人(63%)                                                    | A | 現在の委員総数は8人なので女性委員を3人以上とする。                                                            | A | 委員の任用替えの結果、女性委員の必要が前回よりも向上した。                                                    |                                                            |
|                                            | 国保年金課 | 米沢市国民健康保険運営協議会<br>委員14名中、女性5名(35.7%)<br>(平成29年6月改選)                              | A | 女性委員の割合を35%とする。                                                                       | A | 平成29年6月の改選で女性委員は5人となり、35%を達成できた。                                                 | 特になし。                                                      |
|                                            | こども課  | 米沢市子ども・子育て会議の<br>構成委員に女性委員を登用する。                                                 | A | 女性委員の割合を35%以上とする。                                                                     | A | 構成委員の女性比率を53.8%<br>(7人/13人中)とすることができ、女性委員の登用推進を図ることができた。                         |                                                            |
|                                            | 健康課   | 米沢市健康づくり推進協議会<br>33.0%<br>米沢市食育推進協議会69.2%                                        | A | 現状維持                                                                                  | A | 健康課全体としては概ね目標を達成している。                                                            | 健康づくり推進協議会において、女性委員登用の増加に向け、公募委員枠において、女性委員の公募について周知を図る。    |
|                                            | 水道業務課 | 水道事業経営懇談会を開催した。                                                                  | A | 委員の選定にあたっては、女性委員を積極的に登用する。                                                            | A | 8名の委員中、女性委員は3名で、女性委員の割合は37.5%となっている。                                             | 次回改選の際も女性委員を積極的に登用する。                                      |
|                                            | 選管事務局 | 投票区の投票立会人の選考について、各地区に対し女性の登用の推進に協力を呼び掛ける。<br>また、公募している期日前投票所の立会についても、女性の登用を推進する。 | A | 投票区及び期日前投票所の立会人の女性の割合を50%とするよう努める。                                                    | B | 平成29年10月執行された衆議院議員総選挙では、投票区の投票立会人：35%(110名中38名)、期日前投票所の投票立会人：92%(13名中12名)となった。   | 投票立会人の選考は、大半各地区のコミュニティーセンターを通じて行っている。今後とも引き続き協力を呼びかけていきたい。 |
| ②各種審議会等への女性委員の登用を推進するために女性人材情報の収集と活用を図ります。 | 総合政策課 | 審議会等における女性委員の登用状況調査を行った。<br>改選となる各審議会等について女性の登用を働きかけた。                           | A | 各審議会等ごとの女性委員登用率を明らかにし、女性委員の比率が目標に達していない審議会等には比率を上げるように働きかけていく。<br>女性委員登用率の目標値：29年度35% | C | 女性委員の登用促進を図るため、全ての課等に対し女性委員の登用調査を行い、その際に女性委員の積極的登用について働きかけを行った。<br>(平成29年度24.9%) | 今後も引き続き、目標達成に向け各課等に働きかけていく。                                |
| ③各種研修等により市の女性職員の能力の向上を目指すとともに、登用を推進します。    | 総務課   | 日本経営協会主催「地方自治体女性職員交流研究会」などへの派遣を行う。                                               | A | 各種研修等により、女性リーダーに相応しい能力の向上を図る。                                                         | A | 研修受講職員の能力向上を図ることができた。                                                            |                                                            |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり

基本方針３ 意思決定の過程における男女共同参画を推進します

主な施策（６） 事業所や各種団体等の方針決定の場への女性の参画促進

| 具体的な取組                                                                    | 担当課   | 実施事業の内容                                                                           | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                                   | 目標達成度 | 担当課の評価                                                          | 課題・改善点等                 |
|---------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------|
| ①女性の登用を積極的に推進している事業所等の取組を広報・啓発するなど、事業所や各種団体等における男女共同参画意識の高揚を図ります。         | 商工課   | 厚生労働省が推進している「ポジティブアクション」の取組をホームページ等でＰＲし、周知に努めた。                                   | A    | ポジティブアクション取組をホームページ等で周知するとともに、米沢市電子機器機械工業振興協議会やビジネスネットワークオフィスなどの会議でチラシを配布し、男女共同参画意識の高揚を図る。 | A     | 公共施設へのポスター掲示、パンフレット設置等により、一定の周知が図られた。                           |                         |
| ②女性の交流会を通して、さまざまな分野で活躍する女性の力を分かち合い、女性が自分自身を高め、方針決定過程へ参画する意欲を醸成する機会を拡大します。 | 総合政策課 | 県の男女共同参画センターで開催する各種研修等について情報提供を行った。<br><br>山形県男女共同参画センター助成事業である「男女共同参画地域講座」を開催した。 | A    | 研修会や講座の情報を市民にＰＲし、女性の参画意識の向上に努める。<br><br>男女共同参画社会づくりに向けた県民意識の醸成と普及啓発を図る。                    | A     | 関係団体への情報提供や、広報ＰＲ、啓発活動等によりＰＲできた。<br><br>男女共同参画についての理解を深めることができた。 | 市のフェイスブック等も活用したＰＲを展開する。 |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり  
 基本方針3 意思決定の過程における男女共同参画を推進します  
 主な施策(7) 女性の能力向上と参画意識の高揚

| 具体的な取組                                                  | 担当課      | 実施事業の内容                                                                                                                        | 実施状況 | 事業の目標(値)                                                       | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                              | 課題・改善点等                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①県や大学との連携により、様々な分野における女性リーダーを育成するための情報の提供や講座等の開催を推進します。 | 総合政策課    | 山形県男女共同参画センターで開催する女性リーダー育成講座(チェリア塾)等、県の女性向け研修についてPRを行った。                                                                       | A    | 男女共同参画社会づくりに関わる女性リーダー育成の研修会や講習会の情報を市民にPRし、女性の参画意識の向上に努める。      | A     | 広報への掲載や関係団体へのお知らせの送付で情報提供ができた。                                                                                      |                                                                                                              |
|                                                         | 商工課      | ポスター、チラシ、パンフレットの設置等で広報・啓発を行った。                                                                                                 | A    | 周知による事業所等の意識啓発を行う。                                             | A     | ポスター掲示、パンフレット設置等により、周知が図られた。                                                                                        |                                                                                                              |
|                                                         | 社会教育・体育課 | まちづくり人財養成講座平成29年6月から9月までの8回。まちづくり、地域活性化に情熱を注いでいる講師や市民を迎え講座を開催。8人の講師中5人が女性、女性の潜在能力を引き出す学習機会を提供。講座受講者数102人 のべ241人(うち女性48人のべ121人) | A    | 「まちづくりプラン大賞」コンペティションを開催し女性のアイデアが活かせるまちづくりと女性の潜在能力を引き出す機会を提供する。 | A     | 地域の高齢者を集め里山を再生する。地域の大学と連携して地域の食材をおしやれに開発することで、農産物に付加価値を上げる。郷土料理を分かりやすくつくれるレシピ本を作成し地域資源を正確に伝承したいという女性リーダーが誕生し活躍している。 | 空き家を活用した提案が多かった。建造物に着手すると事業費がかさむので、アイデアがあっても二の足を踏んでいる場合が多いため、資金のサポートが重要であった。クラウドファンディングを活用した事業もあり意欲的に活動していた。 |
| ②女性が様々な分野に参画するための意欲の向上や意識の高揚を図るための広報・啓発を行います。           | 総合政策課    | 県の男女共同参画センターで開催する各種研修等について情報提供を行った。                                                                                            | A    | 研修会や講座の情報を市民にPRし、女性の参画意識の向上に努める。                               | B     | 関係団体への情報提供や、広報PR、啓発活動等によりPRできた。                                                                                     | 市のフェイスブック等も活用したPRを展開する。                                                                                      |
| ③男女共同参画を進める団体やグループの活動を支援します。                            | 総合政策課    | 市内の団体やグループに県や男女共同参画センターで行う各種事業の情報を提供した。                                                                                        | A    | 市内の団体やグループの活動を支援し、男女共同参画に対する意識の向上に努める。                         | A     | 各種事業等の情報提供により、ある程度の支援につながった。                                                                                        |                                                                                                              |
| ④女性団体のネットワーク化に向けて支援を行い、ネットワーク活動に市の女性職員も積極的に参画します。       | 総合政策課    | 女性団体をはじめとする男女共同参画や人権尊重を推進する団体同士の横のつながりを作り、より一層の推進活動につなげる。                                                                      | B    | 市内の団体やグループのネットワーク化を支援し、男女共同参画推進活動の支援につなげる。                     | B     | ネットワーク化まで至っていないが、新たなグループ活動に市として職員が参加し、将来的に、市内の他の団体とネットワーク化を見据えた活動の展開につながった。                                         | 市内の団体やグループのネットワーク化を推進する。                                                                                     |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり

基本方針４ 地域社会における男女共同参画を促進します

主な施策（８） 地域社会活動における男女共同参画の促進

| 具体的な取組                                                             | 担当課      | 実施事業の内容                                                                                                                             | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                       | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                              | 課題・改善点等                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①性別による固定的な役割分担意識の解消や社会慣行の見直しを図り、男女共同参画についての理解が深まるように講演会や講座等を開催します。 | 総合政策課    | 広報よねざわに男女共同参画社会づくりへの取組に関する記事や、山形県男女共同参画センターで開催する講座等のPRを行った。                                                                         | A    | 固定的な役割分担意識にとらわれず、男女が協力してともに生きていく意識の啓発を図る。                      | A     | 広報よねざわに男女共同参画標語・川柳の入賞作品を掲載し、身近なところから意識啓発を図ることができた。地域講座の開催により、男女共同参画についての理解を深めることができた。                               | 今後も市での取組みや、講座・講演会の開催についての情報を提供していく。                                                                          |
| ②地域社会における自主的な活動の中心的な役割を担う女性を養成するための機会を拡大します。                       | 総合政策課    | 県の男女共同参画センターで開催する各種研修等について情報提供を行った。                                                                                                 | A    | 研修会や講座の情報を市民にPRし、女性の参画意識の向上に努める。                               | B     | 関係団体への情報提供や、広報PR、啓発活動等によりPRできた。                                                                                     | 市のフェイスブック等も活用したPRを展開する。                                                                                      |
|                                                                    | 社会教育・体育課 | 〇まちづくり人財養成講座<br>平成29年6月から9月までの8回。まちづくり、地域活性化に情熱を注いでいる講師や市民を迎え講座を開催。8人の講師中5人が女性、女性の潜在能力を引き出す学習機会を提供。講座受講者数102人 のべ241人（うち女性48人のべ121人） | A    | 「まちづくりプラン大賞」コンペティションを開催し女性のアイデアが活かせるまちづくりと女性の潜在能力を引き出す機会を提供する。 | A     | 地域の高齢者を集め里山を再生する。地域の大学と連携して地域の食材をおしゃれに開発することで、農産物に付加価値を上げる。郷土料理を分かりやすくつくれるレシピ本を作成し地域資源を正確に伝承したいという女性リーダーが誕生し活躍している。 | 空き家を活用した提案が多かった。建造物に着手すると事業費がかさむので、アイデアがあっても二の足を踏んでいる場合が多いため、資金のサポートが重要であった。クラウドファンディングを活用した事業もあり意欲的に活動していた。 |
| ③男女共同参画に関する図書や資料等（ビデオ、DVD等）を充実し、情報提供を行います。                         | 総合政策課    | 広報よねざわやホームページで、男女共同参画に関するビデオやDVDの貸出についてPRを行った。                                                                                      | A    | 個人や団体にビデオやDVDを鑑賞してもらい、人権意識を高めてもらう。                             | C     | 図書やビデオ等の収集や、貸出についてのPRを広報やホームページで行っているが、貸出実績はなかった。                                                                   | ビデオ等の貸出実績はなかったが、今後も広くPRしていきたい。                                                                               |
| ④地域社会活動に誰もが参加しやすい体制を整えるために、一時預かり事業やファミリー・サポート・センター事業に関する情報提供を行います。 | こども課     | 市内3か所の保育所で実施している一時預かり事業及びNPO法人が行う一時預かり・派遣託児について、情報提供を行った。                                                                           | A    | 事業の周知に努め、社会活動への参加を推進する。                                        | A     | よねざわ子育てハンドブックやホームページ等を活用し、事業の周知を図った。                                                                                | 地域社会活動参加での利用について、さらにPRを行っていく。                                                                                |
| ⑤市民の男女共同参画に関する自主的な事業を支援します。                                        | 総合政策課    | 市内の団体やグループに県や男女共同参画センターで行う各種事業の情報を提供した。                                                                                             | A    | 市内の団体やグループの活動を支援し、男女共同参画に対する意識の向上に努める。                         | B     | 各種事業等の情報提供により、ある程度の支援につながった。                                                                                        |                                                                                                              |
| ⑥地域の課題解決に向けて、地域づくりへの地域住民の積極的な参画を促進するとともに、市民主体の地域づくり活動を支援します。       | 総合政策課    | 地域課題の解決を推進しつつ、行政との協働関係が構築できる団体を育成するため、NPO等が行う公益的事業に必要な経費について補助を行った。（協働提案制度補助金）                                                      | A    | ・地域課題解決に向けて多様なNPO等による持続的な活動基盤が構築されるなど、更に住民自治が強化された状態を目指す。      | A     | 7団体へ計200万の補助金を交付し、地域課題解決に向けた各種団体への活動支援につなげることができた。                                                                  |                                                                                                              |

|  |          |                                                                                                                                                                                                                                                                    |   |                                                                 |   |                                                                                                                      |                                                                                                               |
|--|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 社会教育・体育課 | ○まちづくり人財養成講座<br>平成29年6月から9月までの8回。まちづくり、地域活性化に情熱を注いでいる講師や市民を迎え講座を開催。8人の講師中5人が女性、女性の潜在能力を引き出す学習機会を提供。講座受講者数102人 のべ241人<br>(うち女性48人のべ121人)                                                                                                                            | A | ○「まちづくりプラン大賞」コンペティションを開催し女性のアイデアが活かせるまちづくりと女性の潜在能力を引き出す機会を提供する。 | A | ○地域の高齢者を集め里山を再生する。地域の大学と連携して地域の食材をおしゃれに開発することで、農産物に付加価値を上げる。郷土料理を分かりやすくつくれるレシピ本を作成し地域資源を正確に伝承したいという女性リーダーが誕生し活躍している。 | ○空き家を活用した提案が多かった。建造物に着手すると事業費がかさむので、アイデアがあっても二の足を踏んでいる場合が多いため、資金のサポートが重要であった。クラウドファンディングを活用した事業もあり意欲的に活動していた。 |
|  | 社会教育・体育課 | ◎中央公民館事業<br>コミセンとの合同開催事業「米沢地域力講座」<br>①南原コミセンと合同開催「かてものを知ろう！自然を食べよう！」(47人参加)<br>②西部コミセンと合同開催「最上川の水質と舟運」(40人参加)<br>③東部コミセンと合同開催「東部地区史跡探訪講座」(21人参加)<br>④塩井コミセンと合同開催「歌声サロン」(54人参加)<br>⑤松川コミセンと合同開催「親子でチャレンジ！米沢ラーメンづくり」(9組20人参加)<br>⑥山上コミセンと合同開催「山のキャッチコピーを考えよう」(17人参加) | A | 各地区の特色を活かした講座を開催し、地区内外の人へ地域の良さを知ってもらう。また、地域の抱える課題解決に向けた講座を開催する。 | A | 各地区の特色を活かした講座を開催できた。南原に伝わるかてものの知恵や、東部地区に残る史跡の意味、リニューアルオープンする山上コミセンの活用など、地域の課題解決や地域の活性化のために、多くの地域住民に参画いただけた。          | コミセンに偏りがあり、未だ合同で開催していないコミセンとも連携を図り、地域の特性を活かした講座を展開していく。                                                       |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり

基本方針４ 地域社会における男女共同参画を促進します

主な施策（９） 防災における男女共同参画の推進

| 具体的な取組                                                         | 担当課   | 実施事業の内容                                                                                                           | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                                          | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                  | 課題・改善点等                                                                       |
|----------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| ①防災分野での性別による固定的な役割分担意識を見直すとともに、防災分野における政策・方針決定過程への女性の参画を推進します。 | 環境生活課 | （危機管理室）<br>市防災会議委員を40名以内とし、女性委員の枠を増員しており、女性の観点から意見を取り入れるようにしている。また、地域防災計画においては、女性の参画についての記載をしており、今後も女性委員を選出し委嘱する。 | B    | （危機管理室）<br>条例改正をしたことにより、市防災会議の委員を35名から40名以内とし、女性委員枠を増員することを可能としたことにより、各種団体と調整を図り、女性委員の増員を図り、委嘱する。 | C     | （危機管理室）<br>市防災会議委員は、充て職の委員枠や有識者に女性が少なくない職種からの選考枠などがあり、女性委員の増員はできず、昨年度と同じ割合である。（12.82% 市防災会議員39名のうち女性5名） | （危機管理室）<br>市防災会議については、関連する団体の長、自治体の長、部長を委員に委嘱しているため、女性委員の割合が低い結果となっている。       |
| ②災害時における男女のニーズの違いに配慮した支援を行います。                                 | 環境生活課 | （危機管理室）<br>地域防災計画に男女のニーズの違い等男女双方の配慮について記載しており、自主防災組織等への周知、啓発に努める。また、出前講座では、災害時の避難、避難所生活においても男女ニーズの違い等を交えながら説明を行う。 | A    | （危機管理室）<br>地域防災計画に男女のニーズの違い等男女双方の配慮について記載しており、自主防災組織等への周知、啓発に努める。                                 | A     | （危機管理室）<br>自主防災組織等に対する出前講座にて、男女によって、備蓄品・非常用持出し品の準備するものや避難所生活でのニーズが異なることなどの説明をすることが出来た。                  | （危機管理室）<br>出前講座などにて災害時の男女のニーズが異なることの説明を継続的に行い、今後もHPへの掲載や自主防災組織に限らず幅広くPRを行いたい。 |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり

基本方針５ 雇用等における男女共同参画を推進します

主な施策（10） 男女の均等な雇用機会と待遇の確保

| 具体的な取組                                               | 担当課 | 実施事業の内容                        | 実施状況 | 事業の目標（値）           | 目標達成度 | 担当課の評価                       | 課題・改善点等 |
|------------------------------------------------------|-----|--------------------------------|------|--------------------|-------|------------------------------|---------|
| ①事業所等に対して「男女雇用機会均等法」、「女性活躍推進法」等関係法の周知のための広報・啓発を行います。 | 商工課 | ポスター、チラシ、パンフレットの設置等で広報・啓発を行った。 | A    | 周知による事業所等の意識啓発を行う。 | A     | ポスター掲示、パンフレット設置等により、周知が図られた。 |         |
| ②事業所等に対して女性労働者の母性保護と母性健康管理についての周知・啓発を行います。           | 商工課 | ホームページ等で広報・啓発を行った。             | A    | 周知による事業所等の意識啓発を行う。 | A     | ホームページ掲載等により、周知が図られた。        |         |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり

基本方針５ 雇用等における男女共同参画を推進します

主な施策（１１） 農林業・商工業等の自営業に従事する女性の就業環境の改善

| 具体的な取組                                           | 担当課   | 実施事業の内容                                       | 実施状況 | 事業の目標（値）                                               | 目標達成度 | 担当課の評価                          | 課題・改善点等                                                                             |
|--------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------|-------|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| ①男性と女性、お互いが経営のパートナーであるとの認識の浸透を図るための意識啓発を行います。    | 商工課   |                                               | C    | 啓発による事業所等の女性の就労環境の向上を図る。                               | C     | 該当事業がなかったため、実施できなかった。           |                                                                                     |
|                                                  | 農林課   | 家族経営協定書作成にあたり、協定書の意義について周知し、協定者が理解した上で作成を進める。 | A    | 家族経営協定書で実際の従事状況、男女の経営参画を明文化する。                         | A     | 協定書作成の際に作成の意義を説明し、理解して作成してもらえた。 | 引き続き、協定書作成の際には作成の意義を説明し、男性、女性ともに経営に参画する家族全員の役割分担を再確認する機会とするとともに、男女の経営参画に関する明文化に努める。 |
| ②農業従事者の就業環境改善と意欲や能力が十分発揮できるように家族経営協定の普及・PRを行います。 | 農林課   | 家族経営協定書作成にあたり、協定書の意義について周知し、協定者が理解した上で作成を進める。 | A    | 家族経営協定書で実際の従事状況、男女の経営参画を明文化する。                         | A     | 協定書作成の際に作成の意義を説明し、理解して作成してもらえた。 | 引き続き、協定書作成の際には作成の意義を説明し、男性、女性ともに経営に参画する家族全員の役割分担を再確認する機会とするとともに、男女の経営参画に関する明文化に努める。 |
|                                                  | 農業委員会 | 女性が農業経営の一員としての立場を確立し、尊重されるため積極的に家族経営協定を推進する。  | B    | 家族経営協定を締結することで、農業者年金保険料の国庫補助が受けられることもあり、農業者年金加入の推進を図る。 | B     | 新規で１家族の実績があった。                  | 家族経営協定を締結することで、３９歳までの女性が農業者年金に加入した際、政策支援が受けられる利点を農委だより等でPRする必要がある。                  |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり

基本方針５ 雇用等における男女共同参画を推進します

主な施策（１２） ハラスメント防止対策の促進

| 具体的な取組                             | 担当課 | 実施事業の内容                 | 実施状況 | 事業の目標（値）           | 目標達成度 | 担当課の評価                   | 課題・改善点等 |
|------------------------------------|-----|-------------------------|------|--------------------|-------|--------------------------|---------|
| ①事業所等に対して各種ハラスメント防止のための広報・啓発を行います。 | 商工課 | 広報及びホームページ掲載により、啓発を行った。 | A    | 周知による事業所等の意識啓発を行う。 | A     | 広報及びホームページ掲載により、周知が図られた。 |         |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり

基本方針6 女性の職業生活における活躍を促進します

主な施策(13) 女性の再就業支援

| 具体的な取組                                                      | 担当課 | 実施事業の内容                          | 実施状況 | 事業の目標(値)                                                      | 目標達成度 | 担当課の評価                       | 課題・改善点等 |
|-------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------|------|---------------------------------------------------------------|-------|------------------------------|---------|
| ①パートタイム労働法、労働者派遣法、家内労働法、最低賃金法等の法的権利に関する啓発を行います。             | 商工課 | ポスター掲示、チラシ、パンフレットの設置や広報を活用し啓発した。 | A    | ポスター、チラシ、パンフレットを市役所や関係機関に設置、周知し、労働者の法的権利に関する啓発を行い、労働条件の向上を図る。 | A     | ポスター掲示、パンフレット設置等により、周知が図られた。 |         |
| ②結婚・育児・介護等で仕事を一時中断した後再就職を希望する人に対して、再就職セミナー等を開催するなどの支援を行います。 | 商工課 | チラシ、パンフレットの設置での広報提供を行った。         | A    | チラシ等で情報提供に努める。                                                | A     | チラシ、パンフレット設置等により周知が図られた。     |         |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり

基本方針6 女性の職業生活における活躍を促進します

主な施策(14) 女性の多様な働き方の実現に向けた支援

| 具体的な取組                                     | 担当課   | 実施事業の内容                                                              | 実施状況 | 事業の目標(値)                                 | 目標達成度 | 担当課の評価                   | 課題・改善点等 |
|--------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------|-------|--------------------------|---------|
| ①県などの関係機関と連携し、創業を志す女性に対して情報提供・相談等の支援を行います。 | 商工課   | チラシ、パンフレットの設置での広報提供を行った。                                             | A    | チラシ等で情報提供に努める。                           | A     | チラシ、パンフレット設置等により周知が図られた。 |         |
| ②女性のキャリアアップのための講座等を支援します。                  | 商工課   | チラシ、パンフレットの設置での広報提供を行った。                                             | A    | チラシ等で情報提供に努める。                           | A     | チラシ等の活用によって周知が図られた。      |         |
| ③仕事に必要な資格や技術などの情報収集を行い、情報提供と相談体制を充実します。    | 総合政策課 | チラシの設置により、女性のチャレンジ応援事業、就職相談事業について情報提供した。また、各団体等にも各種事業について情報提供を行った。   | A    | 仕事や就職についての相談窓口について、情報提供する。               | B     | パンフレットの設置等で、ある程度情報提供できた。 |         |
|                                            | 商工課   | 市の広報において、内職相談等についてPRを行い、企業へも求職活動を実施した。また、国、県など関係機関のPRチラシを公共施設等に設置した。 | A    | 相談業務を行い、一般的な労働相談や家庭内での仕事を希望する人に内職の斡旋をする。 | A     | 相談業務にて85件の内職の斡旋ができた。     |         |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり

基本方針6 女性の職業生活における活躍を促進します

主な施策（15） 女性の登用促進（市・企業等）

| 具体的な取組                                                                | 担当課 | 実施事業の内容                                        | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                              | 目標達成度 | 担当課の評価                                                  | 課題・改善点等                                          |
|-----------------------------------------------------------------------|-----|------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| ①女性活躍推進法に基づき定める特定事業主行動計画に沿って、女性職員の活躍推進に向けた体制を整備します。                   | 総務課 | 女性職員の活躍推進に関する検討チームの立ち上げ、女性職員を対象とした研修への派遣を行う。   | B    | 女性職員の活躍に関するニーズや意見を行動計画に反映していく。<br>女性リーダーに相応しい能力の向上を図る。                                | B     | 検討チームの立ち上げには至っていない。<br>研修派遣により、女性職員の能力向上とキャリア形成が図られている。 | 検討チームの立ち上げ等を踏まえ、女性職員の活躍に関するニーズを吸い上げられる体制整備を検討する。 |
| ②各種研修等により市の女性職員の能力の向上を目指すとともに、登用を推進します。（再掲）                           | 総務課 | 日本経営協会主催「地方自治体女性職員交流研究会」などへの派遣を行う。             | A    | 各種研修等により、女性リーダーに相応しい能力の向上を図る。                                                         | A     | 研修受講職員の能力向上を図ることができた。                                   |                                                  |
| ③女性の登用を積極的に推進している事業所等の取組を広報・啓発するなど、事業所や各種団体等における男女共同参画意識の高揚を図ります。（再掲） | 商工課 | 厚生労働省が推進している「ポジティブアクション」の取組をホームページ等でPRし、周知に努めた | A    | ポジティブアクション取組を広報で周知するとともに、米沢市電子機器機械工業振興協議会やビジネスネットワークオフィスなどの会議でチラシを配布し、男女共同参画意識の高揚を図る。 | A     | 公共施設へのポスター掲示、パンフレット設置等により、一定の周知が図られた。                   |                                                  |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり  
 基本方針Ⅶ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進します  
 主な施策（１６） 仕事と生活の調和を図るための環境づくり

| 具体的な取組                                                      | 担当課   | 実施事業の内容                                                                            | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                 | 目標達成度 | 担当課の評価                                                         | 課題・改善点等                             |
|-------------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| ①男女が共に仕事と生活の調和の取れた働き方ができるよう、事業主や従業員双方に働き方の見直しを行うための啓発を行います。 | 総合政策課 | 県の「山形いきいき子育て応援企業認定制度」、「山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰」等について周知を行った。                        | A    | 男女がともに仕事、家庭において両立しやすい環境づくりの啓発を行う。                        | B     | パンフレット設置等で、ある程度情報提供できた。                                        | 商工会議所等の機関を通じて、広報活動を広げたい。            |
|                                                             | 商工課   | ポスター掲示、チラシ、パンフレットの設置や広報を活用し啓発した。                                                   | A    | 市役所、関係機関に設置するチラシや広報等で周知、啓発し、男女がともに仕事、家庭において両立しやすい環境をつくる。 | A     | ポスター掲示、パンフレット設置等により、企業経営者等に対し効果的に啓発が図られた。                      |                                     |
| ②労働時間短縮のための啓発を行います。                                         | 商工課   | ポスター掲示、チラシ、パンフレットの設置や広報を活用し啓発した。                                                   | A    | 市役所、関係機関に設置するチラシや広報等で周知、啓発し、男女がともに仕事、家庭において両立しやすい環境をつくる。 | A     | ポスター掲示、パンフレット設置等により、企業経営者等に対し効果的に啓発が図られた。                      |                                     |
| ③育児・介護休業制度の周知を図り、取得促進のための啓発を行います。                           | 総務課   | 米沢市特定事業主行動計画に基づき、子育てに関する各種休暇制度の周知を徹底していく。また、引き続き男性職員の育休取得についての目標を掲げ、特に重点的に取り組んでいく。 | A    | 米沢市特定事業主行動計画に基づき、男性職員の育児休業の取得促進に重点的に取り組む。                | A     | パンフレットを改定した。パンフレットやデスクネッツ等で周知している。また、制度改正等が発生した際には、メールで通知している。 | 今後も引き続き男性職員の取得率向上に向けた周知等を積極的に進めていく。 |
|                                                             | 商工課   | ポスター掲示、チラシ、パンフレットの設置や広報を活用し啓発した。                                                   | A    | 市役所、関係機関に設置するチラシや広報等で周知、啓発し、男女がともに仕事、家庭において両立しやすい環境をつくる。 | A     | ポスター掲示、パンフレット設置等により、企業経営者等に対し効果的に啓発が図られた。                      |                                     |
| ④イクボス制度の広報・周知を行います。                                         | 総合政策課 | ポスター掲示、チラシ、パンフレットの設置や広報を活用し啓発した。                                                   | A    | 市役所、関係機関に設置するチラシや広報等で周知、啓発し、男女がともに仕事、家庭において両立しやすい環境をつくる。 | A     | ポスター掲示、パンフレット設置等により、啓発が図られた。                                   |                                     |
| ⑤次世代育成支援対策推進法に基づく認定制度、認定マーク（くるみん）の広報・周知を行います。               | 商工課   | ポスター掲示、チラシ、パンフレットの設置や広報を活用し啓発した。                                                   | A    | 市役所、関係機関に設置するチラシや広報等で周知、啓発し、男女がともに仕事、家庭において両立しやすい環境をつくる。 | A     | ポスター掲示、パンフレット設置等により、啓発が図られた。                                   |                                     |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |     |                                                                                    |   |                                                                                       |   |                                                                                                                                                                                    |                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| <p>⑥市自らが率先して、職員のワーク・ライフ・バランスに取り組みます。</p> <p>○市職員の育児休業等の取得について、米沢市特定事業主行動計画に基づき、次のとおり目標とします。（平成31年度までの第一期計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業取得については、女性職員90%以上の取得に努めると共に、男性職員5%程度の取得及び、取得期間についても1か月を目指します。</li> <li>・「父親の育児参加のための休暇」取得については、平成29年度まで75%程度、平成31年度までに100%程度の完全取得（5日間）を目指します。</li> <li>・特定事業主行動計画第二期計画においては、第一期計画の実績を踏まえ、数値目標等を検討します。</li> </ul> | 総務課 | 米沢市特定事業主行動計画に基づき、子育てに関する各種休暇制度の周知を徹底していく。また、引き続き男性職員の育休取得についての目標を掲げ、特に重点的に取り組んでいく。 | A | 米沢市特定事業主行動計画に基づき、男性職員の育児休業の取得促進に重点的に取り組み、平成32年度まで男性職員の取得率を5%程度、休業期間については1か月程度の取得を目指す。 | B | <p>女性職員の育児休業取得率は平成29年度においても100%を達成。男性職員の育児休業は、平成29年度の取得者が0名だったが、23年度から28年度にかけて5名が取得しており、男性職員の育児休業取得に対しても意識していると思われる。</p> <p>父親の育児参加のための休暇については、平成29年度が約62%で、完全取得には至っていない状況である。</p> | 今後も引き続き男性職員の取得率向上に向けた周知等を積極的に進めていく。 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり  
 基本方針7 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進します  
 主な施策（17） 男性の積極的な家事・育児・介護への参加の促進

| 具体的な取組                                                                | 担当課      | 実施事業の内容                                                                                                                                                   | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                         | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                  | 課題・改善点等                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| ①家庭における性別による固定的な役割分担意識の解消を図るために、市の広報やホームページ等での広報・啓発や講演会・講座等の開催を推進します。 | 総合政策課    | 広報よねざわに男女共同参画社会づくりへの取組みに関する記事を掲載した。                                                                                                                       | A    | 固定的な役割分担意識にとらわれず、男女が協力してともに生きていく意識の啓発を図る。                                        | B     |                                                                                         |                                                                                 |
|                                                                       | 社会教育・体育課 | ◎広報よねざわ家庭教育特集記事の掲載4ページ                                                                                                                                    | A    | 幅広い年代の方へ家庭教育の大切さを伝える。                                                            | A     | 「絵本」をテーマに4ページ掲載し、親や家族から読み聞かせをすることの大切さを伝えることができた。                                        | 現在子育て中の親への反響は大きかったが、子育てが落ち着いた世代やこれから親になる世代の方にも関心を持ってもらうテーマを検討する。                |
| ②家事、育児、介護等をテーマにした男性を対象とする講座を開催し、生活技術の習得のための支援を行うとともに、家事等への参画を促進します。   | 健康課      | 食生活改善推進協議会では、より良い食生活について普及啓発を行うことができる人材を育成している。<br>妊婦と夫を対象にプレパママ向けの教室「赤ちゃんを迎える親講座」を開催した。                                                                  | A    | 健診結果説明会でのより良い食生活の普及活動等を通して、市民の食生活を改善する。<br>「親になること」について夫婦で考え、安心して赤ちゃんを迎える準備ができる。 | A     | H28年度の男性会員は1名だったが、H29年度は4名に増えた。今後、さらに男性会員を増やしていきたい。<br>平成29年度6回開催し、妊婦50人、夫47人、計97人参加した。 | 女性会員と男性会員の間で食生活や料理に対する考え方の違いがあることがわかった。今後、両者が納得し、食生活改善のための活動を行うことができるように調整していく。 |
|                                                                       | 高齢福祉課    |                                                                                                                                                           | C    | 介護だけでなく、男性も家事等に積極的に関わることで女性に係る負担を軽減するだけでなく、地域における介護者の孤立や孤独感等の解消を図る。              | C     | 当事者の意見を聞き、必要かつ効果的な内容・企画が必要であると思われることから、実施に向けた十分な検討が必要と思われる。                             | 介護者に係る共通理解を深めていく必要があることから、家族介護者交流会での意見交換、講座や研修会開催等を実施する。                        |
|                                                                       | 社会教育・体育課 | ◎中央公民館事業<br>親子deチャレンジ講座<br>パパとつくる♪カフェ風ランチ（父親11人参加）<br>お家でできる！パパと体幹あそび（父親16人参加）<br>ホワイトデーアイシングクッキー（父親1人参加）<br>松川コミセンとの合同開催事業<br>親子でチャレンジ！米沢らーめんづくり（父親6人参加） | A    | 父親の家事・育児参加を促進する講座の開催。年間3回程度。                                                     | A     | 調理実習や体を使った子どもとのふれあい方法など、家事や育児に活用できるものを開催できた。<br>参加者は楽しみながら学ぶことができた。                     | 継続して調理実習・親子体操などの講座を開催し、父親の家事・育児参加促進への支援をする。                                     |

基本目標Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画を推進するまちづくり  
 基本方針7 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進します  
 主な施策（18） 子育てや介護しやすい環境づくり

| 具体的な取組                                                   | 担当課   | 実施事業の内容                                                                                                                               | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                   | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                                               | 課題・改善点等                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①ファミリー・サポート・センターや地域子育て支援センターを充実します。                      | こども課  | ファミリー・サポート・センターでは、保護者の多様なニーズに対応した子育て援助活動支援を行った。地域子育て支援センターでは、親子の交流の広場の開設や育児相談、情報提供を行った。地域の子育て支援機能の充実を図るため、28年度より、親子の交流の広場を土曜日も開設している。 | A    | ファミリー・サポート・センター及び地域子育て支援センターの認知度の向上と利用拡大を図り、子育てと仕事の両立や、子育ての孤独感、不安感の解消に努める。 | A     | ファミリー・サポート・センターは、近年の保護者の多様なニーズ対応し、保護者と相談し合いながら支援活動を進めている。<br>地域子育て支援センターは、土曜日に親子が集える広場を開設したことで、地域の子育て支援機能が充実された。                     |                                                                                                                                          |
| ②特定教育・保育施設における乳児保育や延長保育、病児保育など、多様な就労形態に対応した保育サービスを確保します。 | こども課  | 乳児保育、延長保育、病児保育を実施し、保護者の多様な就労形態に対応できるよう努めた。                                                                                            | A    | 保護者の就労形態に応じて、乳児保育や延長保育、病児保育等、多様な保育サービスを選択・利用できるよう、事業の充実を図る。                | A     | 保育所、認定こども園、及び小規模保育事業において乳児保育を実施した。延長保育については、すべての保育所及び認定こども園において実施し、また、病児対応型病児保育事業については、2か所の保育所で実施し、就労形態の多様化に対応し、仕事をしながら子育てする家庭を支援した。 |                                                                                                                                          |
| ③放課後児童クラブ（学童クラブ）を充実します。                                  | こども課  | 保護者が仕事等で日中家庭にいない児童に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、利用のニーズに添いながら、適正規模での保育事業を行えるように努めた。                                                           | A    | 保護者の就労形態に応じて、乳児保育や延長保育、病児保育等、多様な保育サービスを選択・利用できるよう、事業の充実を図る。                | A     | 平成29年度現在16学区に35の放課後児童クラブが設置されている。子ども・子育て支援新制度に基づき事業の充実を図っている。                                                                        | 小学校の余裕教室や公共施設を活用した施設の設置について具体的、計画的な検討が必要である。                                                                                             |
| ④介護サービスの充実を図ります。                                         | 高齢福祉課 | 介護保険事業に関する情報の提供を行う。<br>65歳到達者に対し、介護保険制度パンフレット「すこやか介護保険」を被保険者証とともに送付<br>パンフレットを窓口等で配布<br>「広報よねざわ」での周知                                  | A    |                                                                            | A     | パンフレットの配布や広報誌の活用により周知を図っており、介護保険料の負担もあることから、介護保険に対する認知度は高いと思われる。                                                                     | 介護サービスの充実や利用者数の増加に伴い、第6期介護保険事業計画の介護保険料が増額となったため、今後も制度の周知を図り、市民の理解を深めていく必要がある。また、施設整備については、給付費の増加に直結し、保険料に大きな影響を与えるため、バランスを考え整備していく必要がある。 |

|                    |       |                                                                                                                  |   |                                                                    |   |                                                                         |                                                                                                       |
|--------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑤介護に関する相談体制を強化します。 | 高齢福祉課 | 地域包括支援センターを中心とした関係機関との連携し、制度横断的な相談対応を行う。<br>市関係部局、警察署、医療機関、保健所、民生委員等<br>相談窓口に関する情報提供を行う。<br>パンフレット、「広報よねざわ」等での周知 | A | 高齢者の増加、相談内容の多様化に対応できるよう、地域包括支援センターを中心とする総合相談体制の充実、専門関係機関との連携強化を図る。 | A | 関係機関等との情報共有、連携を図るとともに、個別事例の支援を通じて必要に応じた対応が実施されていることから、総合相談体制の強化が図られている。 | 相談内容の多様化に伴い、より高い専門性が求められるようになっていることから、関係職員の資質向上を図る必要がある。また、関係機関と連携し適時適切な対応が実施されるよう、より一層の連携強化を図る必要がある。 |
|--------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|

基本目標Ⅲ 男女が互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり

基本方針Ⅷ 女性等に対するあらゆる暴力の根絶

主な施策（１９） 女性等に対する暴力防止の啓発の強化

| 具体的な取組                                                | 担当課   | 実施事業の内容                                                                                 | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                                         | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                | 課題・改善点等                                                              |
|-------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| ①関係機関、女性団体等と連携して、あらゆる世代の人に対してＤＶ防止について、より効果的な啓発を実施します。 | 総合政策課 | ＤＶ防止パネル展を女性団体等と共催で実施するとともに、相談窓口等周知のための啓発活動を行った。<br>山形大学工学部内「旧米沢高等工業学校本館」パープルライトアップを行った。 | A    | ＤＶ防止や人権尊重について考えるきっかけづくりとする。<br>「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、パープルライトアップを行い、ＤＶ防止に対する認識を深め、人権尊重のための啓発を図る。 | A     | ＤＶ防止についての理解を深め、相談窓口のＰＲが図られた。<br>多くの人に目が留まる施設で実施することができ、ＤＶ防止の啓発につながった。 |                                                                      |
|                                                       | こども課  | 庁内各課との連携を強化し、ポスター掲示またパンフレットの窓口配布を行う。                                                    | B    | 相談しやすいよう、相談窓口のＰＲに努める。                                                                            | B     | 深刻なケースが増え、相談の内容も多様化しているが、パンフレット設置等の取組みを行い、啓発ができた。。                    | 早期発見及び相談援助活動の強化を図るよう更に啓発活動に努める。また女性団体等の連携強化に努める。                     |
| ②虐待の防止について、普及啓発を強化します。                                | 社会福祉課 | 障がい者虐待防止センター（社会福祉課障がい者支援室に設置）において、障がい者虐待防止相談員（嘱託職員）を配置し、障がい者虐待の通報受理、相談、訪問等を行う。          | A    | 障がい者への虐待を防止する。<br>障がい者虐待防止について、市民への理解を図る。                                                        | B     | 個々の相談対応は実施しているが、全市民を対象にした周知活動等は実施できなかった。                              | 障がい者虐待防止についての普及啓発に関する取り組みが必要（広報やＨＰへの掲載、米沢市障がい者権利擁護研修会等の各種イベントでのＰＲ活動） |
|                                                       | こども課  | 庁内各課との連携を強化し、ポスター掲示またパンフレットの窓口配布を行う。                                                    | A    | 相談しやすいよう、相談窓口のＰＲに努める。                                                                            | A     | 深刻なケースが増え、相談の内容も多様化しているが、パンフレット設置等の取組みを行い、啓発ができた。。                    | 早期発見及び相談援助活動の強化を図るよう更に啓発活動に努める。                                      |
|                                                       | 高齢福祉課 | 地域包括支援センター職員や関係機関の職員を対象に、高齢者虐待防止研修会を行い、普及啓発に努めた。                                        | A    | 虐待の捉え方や虐待対応の流れを把握し、相談を受ける側のスキルアップを図る。                                                            | A     | 関係機関の職員を含めた研修会を行うことで、顔の見える関係性を築き、相談体制の強化が図られている。                      | 虐待案件が増加傾向にあり、虐待防止に向けた普及開発活動を多方面からしていく必要がある。                          |
| ③若年層に向けた啓発講座を行います。                                    | 総合政策課 | 三友堂看護専門学校学生が思春期ピアカウンセラーとなり、市内中学生に対し講座を行った。                                              | A    | 自分の人生や存在の大切さについて考えるきっかけづくりとする。                                                                   | A     | 自分自身のことを考えること、互いを尊重し合う関係の大切さについて理解を深めてもらうことができた。                      |                                                                      |
| ④かけがえのない生命や人権を尊重する教育を充実します。（再掲）                       | 学校教育課 | 道徳の時間や体験活動を通して、生命尊重について重点的に指導する。外部人材を活用した出前授業等を実施する。                                    | B    | すべての学校で全体計画を立て、計画的に取り組む。                                                                         | B     | 「いのちの教育」は山形県の重点でもあり、すべての学校で道徳の時間を中心に組み込んだ。                            | 外部人材活用については、指導内容の吟味、事前の打ち合わせ等も含めさらに計画的な実施が必要である。                     |

基本目標Ⅲ 男女が互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり  
 基本方針 8 女性等に対するあらゆる暴力の根絶  
 主な施策（20） DV等根絶のための相談機能・支援体制の充実

| 具体的な取組                                                | 担当課   | 実施事業の内容                                                                                  | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                           | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                           | 課題・改善点等                                                                  |
|-------------------------------------------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| ①DV等に関する相談窓口の周知を図るとともに、相談者にスムーズに対応できるよう市役所内の連携を強化します。 | 総合政策課 | ポスター掲示やDV相談ナビカードの設置等を行ったほか、パネル展開催の際に相談窓口の周知活動を行った。                                       | A    | 困っている人が相談できる窓口について周知を行い、相談しやすいような工夫をする。                            | A     | ポスターの掲示や啓発活動により相談窓口の周知ができた。                                                      |                                                                          |
|                                                       | 市民課   | 住民基本台帳事務における支援措置に係る関係課会議を実施し、連携強化を図った。                                                   | A    | 支援措置対象者の情報の共有、適正な運用を行い、情報漏えいを起こさない体制を整える。                          | B     | 関係課職員が支援措置の目的、運用について共通認識を持ち、今後の運用について情報共有することができた。                               | DV等の相談窓口について庁内で方針を固め周知を図っていく必要がある。                                       |
|                                                       | 社会福祉課 | 障がい者虐待に関する窓口において、広報やHP、パンフレット等により周知を行う。窓口での相談や障がい福祉関係事業所等からDV等が疑われる情報を確認した際は、関係課と情報共有する。 | B    | 障がい者のDV等に関する相談窓口について、市民が理解する。DV等が疑われる情報を確認した際に、関係課と情報共有及び対応の連携を図る。 | B     | 個々の相談や事業所等よりDV等と疑われる情報が確認された際の関係課との情報共有は図られているが、障がい者のDV等に関する虐待の相談窓口の周知は実施できなかった。 | 障がい者のDV等防止や相談窓口の普及啓発に関する取り組みが必要（広報やHPへの掲載、米沢市障がい者権利擁護研修会等の各種イベント等でのPR活動） |
|                                                       | こども課  | 庁内各課との連携を強化し、ポスター掲示またパンフレットの窓口配布を行う。                                                     | A    | 庁内各課との連携を強化する。相談しやすいよう、相談窓口のPRに努める。                                | A     | 深刻なケースが増え、相談の内容も多様化しているが、各課と情報を共有することで迅速かつ適切な支援等ができた。                            | ドメスティック・バイオレンス被害者への速やかな保護体制の強化。                                          |
|                                                       | 高齢福祉課 | 相談窓口を設置している課を中心に情報を共有し、必要な支援の実施に努めた。                                                     | A    | 関係機関との連携体制を構築し、相談者に対する適切な支援を実施する。                                  | A     | 市役所内での情報の共有や連携により、適切に支援できた。                                                      | 複雑多様化する相談事例に適切に対応できるよう、研修等の実施等、職員の資質向上に向けた取組を行う必要がある。                    |
|                                                       |       |                                                                                          |      |                                                                    |       |                                                                                  |                                                                          |
| ②相談担当職員の資質向上を図るため、研修機会等を確保します。                        | 総合政策課 | 相談担当職員向けの研修について相談窓口担当課へ周知を行った。                                                           | A    | 人権に関する研修会について庁内に情報を提供する。                                           | A     | 相談窓口担当者の研修の機会が持てた。                                                               |                                                                          |
|                                                       | こども課  | 相談窓口の連携を強化するため、連絡を密にする。また研修会に参加し、相談対応職員の資質向上を図る。                                         | A    | 問題解決のため、速やかな対応ができるようにする。                                           | A     | 研修会への参加などで相談担当者の資質の向上を図られた。                                                      | 研修参加費用の財源確保。                                                             |
| ③被害者の安全を確保しつつ、適切な対応が行えるよう関係機関等と連携し支援体制を整備します。         | 市民課   | 警察、配偶者暴力相談支援センター、児童相談所等の相談機関等から意見聴取し、速やかに支援措置を行った。                                       | A    | DV等の被害者の安全を確保するための救済・支援体制を整える。                                     | A     | 関係機関等との支援体制は良好であり、被害者の安全確保に努めることができた。                                            |                                                                          |

|  |       |                                                                                                    |   |                                                                          |   |                                                                                              |                                            |
|--|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
|  | 社会福祉課 | 障がい者虐待防止相談員（嘱託職員）を配置し、ＤＶ等による障がい者虐待の通報受理、相談、関係機関との情報共有や対応等を行っている。一時保護が必要な場合は、市の措置により入所できる体制を整備している。 | A | ＤＶ等の相談、通報があった際に関係機関との情報共有や対応等の連携を図る。ＤＶ等により被害者の安全を確保する必要がある場合は、一時保護を実施する。 | A | ＤＶ等と疑われる情報が確認された際に関係機関との情報共有を図りながら、その対応について適切に実施できている。また、一時保護が必要と判断された場合の入所対応ができる体制も整備されている。 | 今後も関係機関との連携を密に行い、被害者の連携体制をより充実させていく。       |
|  | こども課  | 児童相談所や警察等と連携し被害者の安全を確保しつつ、支援施設への入所を実施する。                                                           | A | 速やかな対応ができるようにする。                                                         | A | 救済及び保護に留まらず、被害者の自立支援に向けて準備を図ることができた。                                                         |                                            |
|  | 高齢福祉課 | 保護等の必要に応じた権限を行使、関係機関との役割分担による介入や支援を行う。                                                             | A | 警察や保健所、地域包括支援センター等との連携・支援体制を構築し、迅速な安心・安全の保障を図る。                          | A | 支援者、関係機関との連携により、必要な支援が実施された。                                                                 | 関係機関のさらなる連携強化のため、情報共有や研修会等の定期開催を実施する必要がある。 |

基本目標Ⅲ 男女が互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり  
 基本方針 9 支えあい自立し暮らすための社会環境づくりを推進します  
 主な施策（21） 子育て支援体制の充実と子育て環境の整備促進

| 具体的な取組                                                       | 担当課  | 実施事業の内容                                                                                                                               | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                   | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                                               | 課題・改善点等                                                   |
|--------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| ①ファミリー・サポート・センターや地域子育て支援センターを充実します。（再掲）                      | こども課 | ファミリー・サポート・センターでは、保護者の多様なニーズに対応した子育て援助活動支援を行った。地域子育て支援センターでは、親子の交流の広場の開設や育児相談、情報提供を行った。地域の子育て支援機能の充実を図るため、28年度より、親子の交流の広場を土曜日も開設している。 | A    | ファミリー・サポート・センター及び地域子育て支援センターの認知度の向上と利用拡大を図り、子育てと仕事の両立や、子育ての孤独感、不安感の解消に努める。 | A     | ファミリー・サポート・センターは、近年の保護者の多様なニーズ対応し、保護者と相談し合いながら支援活動を進めている。<br>地域子育て支援センターは、土曜日に親子が集える広場を開設したことで、地域の子育て支援機能が充実された。                     |                                                           |
| ②特定教育・保育施設における乳児保育や延長保育、病児保育など、多様な就労形態に対応した保育サービスを提供します。（再掲） | こども課 | 乳児保育、延長保育、病児保育を実施し、保護者の多様な就労形態に対応できるよう努めた。                                                                                            | A    | 保護者の就労形態に応じて、乳児保育や延長保育、病児保育等、多様な保育サービスを選択・利用できるよう、事業の充実を図る。                | A     | 保育所、認定こども園、及び小規模保育事業において乳児保育を実施した。延長保育については、すべての保育所及び認定こども園において実施し、また、病児対応型病児保育事業については、2か所の保育所で実施し、就労形態の多様化に対応し、仕事をしながら子育てする家庭を支援した。 |                                                           |
| ③放課後児童クラブ（学童クラブ）を充実します。（再掲）                                  | こども課 | 保護者が仕事等で日中家庭にいない児童に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、利用のニーズに添いながら、適正規模での保育事業を行えるように努めた。                                                           | A    | 保護者の就労形態に応じて、乳児保育や延長保育、病児保育等、多様な保育サービスを選択・利用できるよう、事業の充実を図る。                | A     | 平成29年度現在16学区に35の放課後児童クラブが設置されている。子ども・子育て支援新制度に基づき事業の充実を図っている。                                                                        | 小学校の余裕教室や公共施設を活用した施設の設置について具体的、計画的な検討が必要である。              |
| ④子育てボランティアの育成と子育てサークルのネットワーク化を推進します。                         | こども課 | 子育てボランティアの育成については、ファミリー・サポート・センター事業において、協力会員（有償ボランティア）の育成を図っていく。                                                                      | A    | 協力会員（有償ボランティア）の質的・量的確保により、子育て支援体制の充実を図る。                                   | A     | ファミリー・サポート・センター事業では、会員に対して育児サポート講習会を開催し、子育てボランティアの育成を図った。                                                                            | 会員に対する講習会の周知を徹底するとともに、新規の協力会員の登録に繋がるよう、事業の周知方法を工夫する必要がある。 |
| ⑤子育て短期支援事業（ショートステイ）について周知を図ります。                              | こども課 | 子育て中の保護者が病気や冠婚葬祭などで養育できなくなった時に、児童養護施設で養育する。利用期間は年間に30日。                                                                               | A    | 事業のPRに努め利用者を増やす。                                                           | A     | 平成29年度は、ショートステイ延16日、トワイライト2日の利用があった。                                                                                                 |                                                           |
| ⑥公共施設内の育児支援機能を充実します。                                         | 財政課  | 庁舎建替えに向けた基本計画の策定に当たって、育児支援機能の充実に配慮した内容とする。                                                                                            | A    | 基本計画に育児支援機能の充実に努める内容を盛り込む。                                                 | A     | 基本計画の必要な機能に「キッズコーナー、授乳室、ベビーベッドの設置」を盛り込んだ。                                                                                            |                                                           |

基本目標Ⅲ 男女が互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり  
 基本方針Ⅸ 支えあい自立し暮らすための社会環境づくりを推進します  
 主な施策（２２） 高齢者及び障がい者の社会活動への参画促進と介護体制の充実

| 具体的な取組                                       | 担当課   | 実施事業の内容                                                                                                                                                                                       | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                                                                                                     | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                                                                              | 課題・改善点等                                                                                                 |
|----------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①高齢者の生きがいがいづくりと社会参加を支援します。                   | 高齢福祉課 | いきがいと創造の事業の実施<br>合同展示会の実施により、事業の周知、会員拡大を図る                                                                                                                                                    | A    | 高齢者の生きがいと社会参加を促進し、社会的孤立感を解消し、自立した生活を助長する。                                                                                                                    | A     | 各部会における自主的な活動ができており、かつ合同展示会の実施により社会参加も促されている。                                                                                                                       | 会員が固定化しつつあり、新規加入会員の参入を促す必要がある。                                                                          |
| ②障がいに応じたサービスや地域社会における共生に向けた支援について相談体制を強化します。 | 社会福祉課 | ①指定一般相談事業所及び指定特定相談支援事業所が参集する毎月の定例報告を継続し、関係機関との連携を密にしながら、個々の障がいの特性に応じたサービス内容の充実を図る。<br>②米沢市地域自立支援協議会において、相談支援等から把握された様々な課題について協議し、共生社会の実現を図る。<br>③障害者差別解消法に基づき、米沢市指定管理者の職員の資質向上を図るための研修会を開催する。 | A    | ①サービス等利用計画書が適切に作成され、個々の目標達成に寄与しているか評価する。<br>②地域の社会的資源やサービスを生かし、障がいのある人もない人も共に生活できるような体制を構築する。<br>③米沢市指定管理者の職員が、障がいのある人への差別の禁止と合理的配慮を行う事についての理解を深め実行できるようにする。 | A     | ①サービス等利用計画書により、本人及び相談支援事業所と行政の情報共有を図り、個々に適したサービスの提供を推進することができた。<br>②地域自立支援協議会を開催し、共生社会の実現のために協議することができた。<br>③障がい者差別解消についての米沢市指定管理者の職員に対する研修会を開催し、障がい者への理解を深める事ができた。 | 今後も事業を継続すると共に、より充実した相談体制を構築するために、相談支援のスキルアップを図っていく。                                                     |
| ③ケアマネージャーや介護サービス事業者が提供するサービスの質の向上を推進します。     | 高齢福祉課 | 介護支援専門員に対する研修会の開催<br>・高齢福祉課、地域包括支援センター、市立病院等サービス事業所への介護相談員の派遣                                                                                                                                 | A    | 介護支援専門員の資質向上を図るとともに、多職種協働による重層的な支援を実施し、在宅介護の限界点の引上げを図る。<br>利用者の声を聞き、サービスの改善点を探ることで苦情を未然に防ぐとともに、サービスの質的向上を図る。                                                 | A     | 必要な知識及び技術の習得機会を確保しており、資質向上が図られている。<br>介護相談員、事業所、保険者が利用者の声を共有し、意見交換を行いながら必要な改善に取り組んでおり、利用者の権利擁護とともにサービスの質的向上が図られている。                                                 | 継続的な研修機会の確保、更なる資質向上に向けた効果的な研修内容を検討する必要がある。<br>事業所との意見交換の機会を確保し、利用者の権利擁護及びサービスの質的向上に取組む必要がある。            |
| ④介護に関する相談体制を強化します。（再掲）                       | 高齢福祉課 | 地域包括支援センターを中心とした関係機関との連携し、制度横断的な相談対応を行う。<br>・市関係部局、警察署、医療機関、保健所、民生委員等相談窓口に関する情報提供を行う。<br>・パンフレット、「広報よねざわ」等での周知                                                                                | A    | 高齢者の増加、相談内容の多様化に対応できるよう、地域包括支援センターを中心とする総合相談体制の充実、専門関係機関との連携強化を図る。                                                                                           | A     | 関係機関等との情報共有、連携を図るとともに、個別事例の支援を通じて必要に応じた対応が実施されていることから、総合相談体制の強化が図られている。                                                                                             | 相談内容の多様化に伴い、より高い専門性が求められるようになってきていることから、関係職員の資質向上を図る必要がある。また、関係機関と連携し適時適切な対応が実施されるよう、より一層の連携強化を図る必要がある。 |

基本目標Ⅲ 男女が互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり  
 基本方針9 支えあい自立し暮らすための社会環境づくりを推進します  
 主な施策（23） 生活上の様々な困難を抱える人への支援

| 具体的な取組                                           | 担当課   | 実施事業の内容                                                                                                                                                                                       | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                                                                                                     | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                                                                                                           | 課題・改善点等                                               |
|--------------------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| ①地域包括支援センターの機能を充実します。                            | 高齢福祉課 | 相談対応、権利擁護、介護予防、地域ケア会議等を開催する。また、個別訪問による生活実態把握調査を実施し、支援を必要とする高齢者の把握および地域課題の把握を行う。                                                                                                               | A    | 団塊の世代が全て後期高齢者となる2025年を見据え、住み慣れた地域での継続的な生活を可能とする地域包括ケアシステムの構築を図る。                                                                                             | B     | 地域における総合相談窓口、地域包括ケアシステム構築にむけた中核機関として、関係機関等との連携を強化するとともに各事業を円滑に実施していることから、センター機能の充実、強化が図られている。                                                                                                    | 業務拡大に対応できるよう人員の確保とともにセンター機能強化を図る必要がある。                |
| ②障がいに応じたサービスや地域社会における共生に向けた支援について相談体制を強化します。（再掲） | 社会福祉課 | ①指定一般相談事業所及び指定特定相談支援事業所が参集する毎月の定例報告を継続し、関係機関との連携を密にしながら、個々の障がいの特性に応じたサービス内容の充実を図る。<br>②米沢市地域自立支援協議会において、相談支援等から把握された様々な課題について協議し、共生社会の実現を図る。<br>③障害者差別解消法に基づき、米沢市指定管理者の職員の資質向上を図るための研修会を開催する。 | A    | ①サービス等利用計画書が適切に作成され、個々の目標達成に寄与しているか評価する。<br>②地域の社会的資源やサービスを生かし、障がいのある人もない人も共に生活できるような体制を構築する。<br>③米沢市指定管理者の職員が、障がいのある人への差別の禁止と合理的配慮を行う事についての理解を深め実行できるようにする。 | A     | ①サービス等利用計画書により、本人及び相談支援事業所と行政の情報共有を図り、個々に適したサービスの提供を推進することができた。<br>②地域自立支援協議会を開催し、共生社会の実現のために協議することができた。<br>③障がい者差別解消についての米沢市指定管理者の職員に対する研修会を開催し、障がい者への理解を深めることができた。                             | 今後も事業を継続すると共に、より充実した相談体制を構築するために、相談支援のスキルアップを図っていく。   |
| ③障がい児支援のため、関係機関等による支援体制を構築します。                   | 社会福祉課 | ①やまがたサポートファイルの普及啓発を図り、関係機関の協力体制及び保護者の支援体制を強化する。<br>②障がい児支援担当における障がい児の支援強化を図る。                                                                                                                 | A    | ①やまがたサポートファイルの普及を図りながら、障がい児の保護者を支援し、適切な療育が受けられるよう迅速な対応を心掛ける。<br>②関係機関との連携を図りながら、個々の状況に即した支援体制を構築する。<br>③子どもの育ちに係る切れ目のない支援策を具体的に策定する。                         | B     | ①小学校への就学時や中学校、高等学校等への進学時にサポートファイルを配布し、発達障がい児等を取り巻く関係機関の連携を強化することができた。<br>②関係機関との連携を密に行い、個々の障がい特性及び家族背景等を考慮しながら、支援体制の構築に努めた。<br>③子どもの育ちに係る切れ目のない支援策について、米沢市地域自立支援協議会子ども支援部会での協議を予定していたが、開催できなかった。 | 今後も事業を継続すると共に、切れ目のない具体的な支援策の検討を進めていくための協議を定期的に開催していく。 |

|                                                                                                   |       |                                                                                                       |   |                                                                                             |   |                                                                     |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------|--|
|                                                                                                   | こども課  | 保育所や学童保育等を利用して障がい児や、利用の申し込みに来庁した障がい児とその家族に対して、社会福祉課に設置された「障がい者支援室」を紹介し、より専門的な支援について知る機会での提供を行った。      | A | 保護者や保育所等の施設に対し、「障がい者支援室」に関する情報提供を行う。                                                        | A | こども課の窓口で相談を受けた場合や、保育所等の施設から相談を受けた場合は、「障がい者支援室」を紹介し、障がい児及びその家族を支援した。 |  |
| ④母子・父子自立支援員、家庭児童相談員による相談体制を強化します。                                                                 | こども課  | 母子福祉資金の貸付などの母子家庭に対する支援や父子家庭に対する支援策の紹介など、また各家庭で抱えている問題への対応などを行う。                                       | A | 研修会への参加などで相談員の資質の向上を図ると共に、関係機関との連携を強化し問題解決に努める。                                             | A | 研修会等への積極的な参加を図るなど、相談員の資質の向上と関係各機関との連携を強化し、問題解決に努めた。                 |  |
| ⑤ひとり親家庭に対して、医療給付、ひとり親家庭子育て生活支援事業等により支援を行います。                                                      | こども課  | 医療機関窓口における医療費自己負担額軽減やひとり親家庭応援給付金等による支援を行う。                                                            | A | 児童が心身共に健やかに育成されるよう、福祉の増進を図りながら自立支援を行う。                                                      | A | 医療費等の経済的問題に関する相談や指導など実効性の高い支援事業が実施できた。                              |  |
| ⑥関係団体（米沢市国際交流協会等）と連携し、日本語教室やサポート講座等の開催により、日本語や日本文化の学習機会を提供するとともに外国語による生活相談の窓口を設置し、外国人の生活の支援を行います。 | 秘書広報課 | 米沢市国際交流協会と連携し、語学レベルに合わせた日本語講座を開催するとともに、各種交流事業の実施により日本語や日本文化の学べる場の提供するとともに、外国語による相談窓口を設け、外国人の生活支援を行った。 | A | 関係団体と連携し、外国人に対して日本語や日本文化を学べる場を提供するとともに、多言語生活ガイドブック等の発行や外国語による生活相談の窓口を設置することにより、外国人の生活支援を行う。 | A | 日本語講座は、米沢市国際交流協会のボランティアスタッフが行っており、需要に応じた対応ができています。                  |  |
| ⑦LGBTなど多様な性のあり方についての理解を促進し、性的少数者への支援のあり方を検討します。                                                   | 総合政策課 | ポスター掲示、チラシ、パンフレットの設置を活用し啓発した。                                                                         | A | 市役所、関係機関に設置するチラシや広報等で周知・啓発を行い、性的少数者が仕事・家庭において両立しやすい環境をつくる。                                  | A | ポスター掲示、パンフレット設置等により、企業経営者等に対し効果的に啓発が図られた。                           |  |
|                                                                                                   | 学校教育課 | 性教育やいのちの教育の一環として発達段階に応じて取り組む。                                                                         | A | 女性の生涯にわたる健康の問題について、意識啓発を図る。                                                                 | A | いのちの教育の中で発達段階に応じて取り上げた。                                             |  |

基本目標Ⅲ 男女が互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり  
 基本方針９ 支えあい自立し暮らすための社会環境づくりを推進します  
 主な施策（２４） 地域社会における共生を支える社会環境の整備

| 具体的な取組                            | 担当課   | 実施事業の内容                                                                        | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                                                                                                                            | 目標達成度 | 担当課の評価                                                       | 課題・改善点等                       |
|-----------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------|
| ①公共施設、公共空間、公共交通機関のバリアフリー化を推進します。  | 財政課   | 庁舎建替えに向けた基本計画の策定に当たって、バリアフリー化の推進に配慮した内容とする。                                    | A    | 基本計画にユニバーサルデザインの採用など、バリアフリー化に努める内容を盛り込む。                                                                                                                                            | A     | 基本計画の基本理念で「ユニバーサルデザインの考え方を取り入れる」こととし、必要な機能に「ユニバーサルデザイン」を掲げた。 |                               |
|                                   | 高齢福祉課 | 老人福祉センター寿山荘における施設内のバリアフリーを維持<br>・身体障害者用トイレ<br>・浴室内の手すり<br>・玄関や廊下等の手すり          | A    | 高齢者や障がい者の寿山荘の利用において、事故なく安心して施設を利用することができる。                                                                                                                                          | A     | 寿山荘の施設内は、バリアフリーの設計となっており、事故等はなかった。                           | 施設の老朽化に伴い、平成29年度末で施設利用は終了となる。 |
| ②高齢者や障がい者に配慮した計画的な市営住宅の改修を行います。   | 都市整備課 | 市営住宅林泉寺団地6号棟について洗面所等の給湯設備を改修し、高齢者に配慮してシングルレバーの混合水栓とする。                         | A    | 市営住宅林泉寺団地6号棟12戸の給湯設備改善を行う。                                                                                                                                                          | A     | 計画どおり林泉寺団地6号棟12戸の改善工事を行い、H30. 3月に完成。                         |                               |
| ③市街地における高齢者向け優良賃貸住宅の利用を促進します。     | 都市整備課 | 高齢者向け優良賃貸住宅供給事業により建設した賃貸住宅の事業主体に、家賃減額補助金を交付した。                                 | A    | 急激な高齢社会の進展により増加する、単身高齢者や高齢者夫婦世帯の居住の安定を図るため、民間賃貸住宅を活用し、高齢者の身体機能に対応した設計や設備など、高齢者に配慮した良質な賃貸住宅ストックの早急な形成を目的とする高齢者向け優良賃貸住宅供給事業により建設した賃貸住宅の事業主体に家賃減額補助金（補助予定額17,050千円）を交付して、高齢者の居住の安定を図る。 | B     | 13,434千円の家賃減額補助金の交付を行い、約79%の交付額となった。                         |                               |
| ④多言語生活ガイドブック等の発行や、案内の多言語表記を拡充します。 | 秘書広報課 | 日・英・中・韓の四か国語による広報よねざわダイジェスト版「YONEZAWAJIN」や「冬の暮らし方」、「ごみの分別」などの生活ガイドブックを作成・配布した。 | A    | 関係団体と連携し、外国人に対して日本語や日本文化を学べる場を提供するとともに、多言語生活ガイドブック等の発行や外国語による生活相談の窓口を設置することにより、外国人の生活支援を行う。                                                                                         | A     | 「YONEZAWAJIN」の発行など在住外国人向けの情報を定期的に発行した。                       |                               |
|                                   | 財政課   | 庁舎建替えに向けた基本計画の策定に当たって、案内の多言語表記の拡充に配慮した内容とする。                                   | A    | 基本計画に案内の多言語表記の拡充に努める内容を盛り込む。                                                                                                                                                        | A     | 基本計画の必要な機能に「案内表示板等の主な表記を多言語表示する」ことを盛り込んだ。                    |                               |

|  |       |                                                                                                                                                                                                    |   |                                                                                                                                                                 |   |                                                                                                                                                                                                        |                              |
|--|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
|  | 環境生活課 | <p>(廃棄物対策担当)<br/>課内窓口等において、3か国語版「家庭のごみと資源物の分け方・出し方」の冊子を作成し、ごみ分別の方法について周知する。</p> <p>(危機管理室)<br/>まちづくり出前講座にて、山形大学留学生就職促進プログラム、山形大学工学部留学生地震体験・防災講座において、4か国語版防災に関するリーフレットを配布し、防災の基礎知識について周知・啓発を行う。</p> | A | <p>【環境生活課】<br/>(廃棄物対策担当)<br/>課内窓口等において、希望者に3か国語版「家庭のごみと資源物の分け方・出し方」の冊子を配布し、ごみ分別の方法について周知する。</p> <p>(危機管理室)<br/>まちづくり出前講座にて、山形大学留学生に対しての防災の基礎知識について周知・啓発を行う。</p> | A | <p>【環境生活課】<br/>(廃棄物対策担当)<br/>ごみ分別の方法について周知することにより、生活する上で必要な情報を共有することができた。</p> <p>(危機管理室)<br/>まちづくり出前講座において、年1回の開催であったが、山形大学留学生就職支援プログラム(山形大学・山大工学部・東北公益文化大学)の講座開催もあり、多くの留学生に対し、防災意識の啓発・普及することができた。</p> |                              |
|  | 水道業務課 |                                                                                                                                                                                                    | C | 窓口での各種手続きの案内を多言語表記とする。                                                                                                                                          | C | 現在、水道料金等の収納、手続き等を水道センターに委託しているが、窓口の案内表記は日本語のみである。                                                                                                                                                      | 今後、窓口に多言語表記の案内等を設置していきたい。    |
|  | 市病医事課 | 外国人患者の受入れを円滑に行うため、外国語の案内を作成する。                                                                                                                                                                     | A | 英語版の案内を作成し充実させる。                                                                                                                                                | B | 更に内容の充実を図るべく更新作業中に着手している。                                                                                                                                                                              | 英語版は費用がかからず作成できたが、他言語は有償となる。 |

基本目標Ⅲ 男女が互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり

基本方針１０ 男女が生涯を通じて健やかに暮らすための健康づくりを推進します

主な施策（２５） 母性保護・母子保健の充実

| 具体的な取組                         | 担当課   | 実施事業の内容                                                                                                       | 実施状況 | 事業の目標（値）                              | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                      | 課題・改善点等 |
|--------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------|---------|
| ①母性保護の重要性と正しい知識の啓発を行います。       | 健康課   | 母子健康手帳交付時、母子保健コーディネーターが面接し、妊婦の健康管理や「働きながら妊娠・出産・育児される方へ」の情報提供を行う。また、赤ちゃんを迎える親講座・妊婦さん向けの栄養講座の実施、妊婦健康診査の公費助成を行う。 | A    | 妊婦の健康管理や情報提供、相談を実施し健康づくりを支援する。        | A     | 母子健康手帳交付時の面接では、妊婦の心配や不安について相談を受けている。また、妊婦さん向けの講座や妊婦健康診査の公費助成を実施し健康づくりを支援した。 | 現状維持    |
|                                | 学校教育課 | 性教育や道徳教育の一環として取り組む。                                                                                           | A    | すべての学校で取り組む。                          | A     | いのちの教育の中で発達段階に応じて取り上げた。                                                     |         |
| ②妊娠・出産期と乳幼児の母子保健体制を充実します。      | 健康課   | 妊娠中や産後の相談、こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健診等母子保健事業を実施する。                                                                      | A    | 母子保健事業時、両親の心身の健康状況、父親の育児参加状況を確認し支援する。 | A     | 母子保健事業実施時、両親の心身の健康状況を確認し支援した。                                               | 現状維持    |
| ③不妊治療に関する相談や助成、情報提供などの支援を行います。 | 健康課   | 不妊治療の経済的支援として治療費の一部を助成した。不妊に関する相談に対応し、必要時置賜保健所の相談事業や医療機関等の情報提供を行う。                                            | A    | 不妊治療に関する情報提供、助成事業を実施する。               | A     | 不妊治療に関する情報提供、助成事業を実施した。<br>平成29年度 延46件助成                                    | 助成金額の拡充 |

基本目標Ⅲ 男女が互いに支え合い安心して暮らせるまちづくり

基本方針１０ 男女が生涯を通じて健やかに暮らすための健康づくりを推進します

主な施策（２６） 生涯にわたる健康づくりの推進

| 具体的な取組                                  | 担当課   | 実施事業の内容                                                                                                         | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                | 課題・改善点等                                           |
|-----------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| ①リプロダクティブ・ヘルス／ライツの意識啓発を行います。            | 健康課   | 「高校生と赤ちゃんとのふれあい体験」事業を実施や健康相談窓口で、妊娠、出産等の相談に応じる。                                                                  | A    | 女性の健康についての相談により意識啓発を図る。                                 | A     | 「高校生と赤ちゃんとのふれあい体験事業」で、赤ちゃんのお世話や妊婦疑似体験を通して「いのちの尊さ・大切さ」「自分自身の健康管理」について知ってもらうことに繋がった。                    | 参加者の増加<br>H29 21名                                 |
|                                         | 学校教育課 | 性教育やいのちの教育の一環として発達段階に応じて取り組む。                                                                                   | A    | 女性の生涯にわたる健康の問題について、意識啓発を図る。                             | A     | いのちの教育の中で発達段階に応じて取り上げた。                                                                               |                                                   |
| ②自己健康管理の意識を持ち、健康の保持・増進に対する意識の啓発を行います。   | 健康課   | 健診未受診者対策、地区健康教室、市民セミナー（講演会）の開催や、健診ガイドブックの全戸配布等の幅広い周知活動を展開し、健康づくりに対する意識啓発を行う。また、健診結果説明会を開催し、健康づくりに向けた行動変容を促していく。 | A    | 健診受診者数の増加に努め、健康の保持増進に対する意識啓発を促す。                        | B     | 健診受診率は横ばいであった。健診結果説明会で健康教育や個別相談を行っており、今後の行動変容に期待したい。                                                  | 機会をとらえた健康教育や受診率の向上対策が必要である。                       |
| ③生活習慣病予防のための健康づくりを推進します。                | 健康課   | 成人の健診や、歯周疾患検診、健康運動指導を行い、健康づくりの推進を図る。                                                                            | A    | 生活習慣を改善し、より健康意識が向上するように支援する。                            | A     | 事業を確実に実施した。                                                                                           | 引き続き受診率の向上対策が必要である。                               |
| ④心の健康づくりをめざし、保健・医療・福祉・教育の総合的施策の展開に努めます。 | 健康課   | 自殺対策事業の実施。ゲートキーパー養成講座、地区懇談会の開催                                                                                  | A    | 自殺者の減少（２５年比 １５人）                                        | C     | 計画した事業を確実に実施した。自殺死亡者は１８人と増加した。                                                                        | 心の健康づくりの実践と啓発を行う。                                 |
|                                         | 高齢福祉課 | 多様な実施主体の創意工夫により介護予防教室を開催する。                                                                                     | A    | 生活習慣の改善や生活機能低下の防止をはじめとする総合的な介護予防事業を実施し、健康寿命の延伸・自立支援を図る。 | A     | 介護予防を通じた心身の健康の保持増進に対する意識も高まり、閉じこもりの防止や孤立感の解消、異変の早期発見・早期対応が図られている。                                     | 関係部署との協働による事業の統合的な実施の検討等の必要がある。                   |
|                                         | 学校教育課 | アセスを活用した実態把握に努め、教育相談に活かす。                                                                                       | A    | アセスから一人一人の実態を把握し、教育相談・生徒指導・学習指導に活かす。                    | A     | アセスの結果の共通理解の場を設け、学級経営や授業改善に取り組むことができた。また、アンケートの結果をもとに、教師と子どもが向き合う時間を意図的に作ったことで、子どもたちが相談しやすい雰囲気作りができた。 | 一人一人の困り感、満足度を把握し指導に生かすため、アセスの活用についての研修を継続する必要がある。 |

|                                                 |          |                                                                                           |   |                                                                                                               |   |                                                                                             |                                                                        |
|-------------------------------------------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| ⑤女性特有の健康上の問題や女性に多くみられる疾病について情報提供を行い、相談体制を充実します。 | 健康課      | 女性特有のがん検診のPRを強化し、受診者の増加を図る。また、健康相談室を開設し、保健師や助産師が相談に対応する。                                  | A | 女性特有のがん検診の受診者数の増加に努め、また、女性特有の相談しやすい健康相談室を開設する。                                                                | B | 女性特有のがん検診の受診率は微増している。土・日受けられる検診の周知を行った。                                                     | 乳幼児健診で、女性特有のがん検診や乳がんの自己検診法について周知していく。                                  |
| ⑥性感染症・エイズ・薬物に対する情報提供と知識の啓発を行います。                | 健康課      | 啓発活動の実施                                                                                   | A | ポスター掲示、チラシ配布等を行う。                                                                                             | A | 置賜保健所と共同で駅前において、主に通学途中の高校生を対象に薬物乱用防止キャンペーンとしてポケットティッシュの配布を行った。                              | 性感染症及びエイズにかかる啓発事業について、置賜保健所と連携し、事業の推進を図る。                              |
|                                                 | 学校教育課    | 保健指導の一環として指導する。                                                                           | A | すべての学校で取り組む。                                                                                                  | A | 各学校において、予定通りに実施できた。                                                                         |                                                                        |
| ⑦関係機関との連携により健康・体力づくりを推進します。                     | 健康課      | 米沢市健康づくり推進協議会を開催し、健康づくりに関する連携を深める。                                                        | A | 年2回実施                                                                                                         | A | 米沢市民健康づくり運動計画の中間評価に向け、公募委員を募り新たに委嘱した。                                                       | 健康長寿日本一に向けたまちづくりの中において、新たな取り組みを図る                                      |
|                                                 | 社会教育・体育課 | ●市民スポーツ教室「何か一つやろう体力づくり」をスローガンに、成人一般を対象にしたスポーツ教室を開催する。実施主体は米沢市体育協会。                        | A | 定員：硬式テニス60名、ソフトテニス35名、ニュースポーツ&ストレッチ25名*2期、新卓球ラージボール40名、バドミントン60名、弓道20名（計265名）<br>回数：各10回（ニュースポーツ&ストレッチは5回*2期） | A | 市民の体力づくりの機会として6種目*10回を開催できた。参加者はのべ191名、うち女性が132名。                                           | 参加者は女性が圧倒的に多く、男性が参加したくなるような工夫が必要。                                      |
| ⑧高齢者の健康づくりのためのスポーツ活動への参加を促進します。                 | 高齢福祉課    | 米沢市営体育館を会場とし、市内に在住する満60才以上の方（主として老人クラブ単位）に参加していただき、地区対抗の体育レクリエーション大会を開催した。                | A | 高齢者がスポーツを通じて、健康の保持と相互の親睦を図り、老後の生活を健康で豊かなものとするため、社会福祉協議会、老人クラブ連合会と協働で実施している。                                   | A | ゲームやアトラクションを通して、高齢者間の交流が図られ、健康増進に寄与できている。                                                   | 参加人数の減少傾向が見られ、周知不足のないよう工夫が必要である。                                       |
|                                                 | 社会教育・体育課 | ●米沢市まちづくり出前講座「楽しいニュースポーツ」米沢市内に居住または勤務・在学する方5名以上で構成されたグループに対し、事前の申請に基づき、軽スポーツ等を紹介・指導を行う事業。 | A | 任意のグループへの軽スポーツの紹介・指導<br>回数：月1回×10ヵ月                                                                           | A | 平成29年度は「いきいき100歳体操にこにこ会」（参加者18名）の要望で、計10回を実施した。一部ルールを簡素化するなど無理なく楽しめるように工夫し、参加者からも概ね好評を得られた。 | 実施できる種目が限られている。また、特定のグループに対しての派遣になってしまっているため、幅広く活用していただけるようにしていく必要がある。 |
| ⑨高齢者が要介護状態等にならないよう介護予防を推進します。                   | 高齢福祉課    | 住民主体の通いの場の立上支援・専門職派遣による継続的支援、介護予防教室の開催、認知症予防教室の開催等を行う。                                    | A | 高齢者に対し、必要な介護予防の知識・実践方法を指導することで、自立した高齢者の増加を図り、自助・互助・共助の地域支え合い体制の構築を推進し、介護給付費及び要介護認定率の抑制を図る。                    | B | 通いの場の増加、事業参加者の増加及び自己効力感等、健康増進や介護予防についての意識を持ち、自ら取組を行う高齢者が増えていることから、介護予防の推進が図られている。           | 事業の充実と併せて、事業に依存しない住民主体による介護予防の推進、地域での取組の推進を図る必要がある。                    |

基本目標Ⅳ 男女共同参画を推進する体制づくり

基本方針１１ 男女共同参画を推進するための体制の充実を図ります

主な施策（２７） 推進体制の整備

| 具体的な取組                                             | 担当課   | 実施事業の内容                                                                   | 実施状況 | 事業の目標（値）                                 | 目標達成度 | 担当課の評価                           | 課題・改善点等 |
|----------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------|-------|----------------------------------|---------|
| ①市長を本部長とした米沢市男女共同参画推進本部による計画の進行管理を行います。            | 総合政策課 | 米沢市男女共同参画推進本部会議を開催した。                                                     | A    | 推進本部会議を開催し、基本計画の進捗状況を把握し、施策の推進のための検討を行う。 | A     | 本部会議を開催し、進捗状況の把握、施策推進のための検討を行った。 |         |
| ②国・県や近隣市町との情報の交換等、協力・連携を図ります。                      | 総合政策課 | 置賜地区の男女共同参画担当者による打合せに出席した。                                                | A    | 県や市町村における男女共同参画事業の計画や実施状況について情報交換を行う。    | A     | 県や近隣市町の男女共同参画事業について情報交換ができた。     |         |
| ③市職員の男女共同参画についての意識を啓発すると共に、市民や団体等の活動に積極的に参画していきます。 | 総合政策課 | 市職員を対象に男女共同参画への理解を深めるため研修会を開催した。<br>実施日 平成30年3月8日（木）<br>受講者 課長級～主査級の職員56名 | A    | 男女共同参画推進に向けて、市職員の理解を促し意識を高める。            | A     | 男女共同参画に対する理解を深め、意識を高めてもらうことができた。 |         |

基本目標Ⅳ 男女共同参画を推進する体制づくり

基本方針１１ 男女共同参画を推進するための体制の充実を図ります

主な施策（２８） 市民・地域団体・事業所・大学等との連携

| 具体的な取組                                                            | 担当課   | 実施事業の内容                                            | 実施状況 | 事業の目標（値）                                                                        | 目標達成度 | 担当課の評価                                                                                                       | 課題・改善点等                                        |
|-------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| ①市民から成る米沢市男女共同参画推進委員会にこの計画の進捗状況を定期的に報告するとともに、施策の推進に関する提言をしてもらいます。 | 総合政策課 | 米沢市男女共同参画推進委員会を開催した。                               | A    | 推進委員会を開催し、基本計画の進捗状況を定期的に報告するとともに、施策の推進に関して意見をいただく。                              | A     | 基本計画の進捗状況を報告し、施策推進について意見をいただくとともに、男女共同参画標語・川柳募集への応募作品の審査をしていただいた。（8月、2月の2回開催）                                |                                                |
| ②市民・地域団体・事業所等に対して男女共同参画の趣旨が正しく理解されるよう、意識の啓発や計画の普及を行います。           | 総合政策課 | 男女共同参画に関する標語・川柳募集を行った。<br>基本計画の進捗状況を市のホームページに掲載した。 | A    | 作品募集を行うことで、男女共同参画社会について関心をもってもらい、基本計画の進捗状況を市のホームページに掲載し、男女共同参画社会への関心と理解を深めてもらう。 | A     | 小学生、中学生、高校生以上の3部門に578作品の応募があり、優秀作品や表彰式の模様を広報に掲載することで、市民に関心を持っていただくことができた。<br>市のホームページに掲載することで、啓発活動の推進につながった。 |                                                |
| ③女性団体等のネットワークを活かし、協働で活動を展開し、市民が身近に感じる活動の場を広めます。                   | 総合政策課 | ネットワーク形成のために調査を実施した。                               | A    | ネットワークを形成し、それぞれの女性団体が互いに協働で様々な活動を展開する。                                          | B     | 男女共同参画パネル展（6月）やDV防止パネル展（11月）において、協働で啓発活動を行った。                                                                | 女性団体同士で積極的に協働で活動を展開できるよう、調査を活かし完全なネットワークを形成する。 |
| ④大学と相互に情報交換を行い、協働で施策を推進します。                                       | 総合政策課 | 山形大学男女共同参画推進室と相互に情報交換を行った。                         | A    | 大学における男女共同参画事業の計画や実施状況について情報交換を行う。                                              | B     | 大学の男女共同参画事業について情報交換ができたが、協働で施策を推進するまでに至らなかった。                                                                |                                                |